

1 内に入る語句の組合せで正しいのはどれか。

日本国憲法第 25 条の条文を以下に示す。

「すべて国民は、健康で ① な最低限度の生活を営む権利を有する。

国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び ②、 の向上及び増進に努めなければならない。」

①

②

- | | | |
|---|-----|------|
| a | 文化的 | 公衆衛生 |
| b | 衛生的 | 公衆衛生 |
| c | 文化的 | 地域保健 |
| d | 衛生的 | 地域保健 |
| e | 文化的 | 環境保全 |

2 血液凝固に関与するのはどれか。

- a プラスミノーゲン
- b フィブリノーゲン
- c アルブミン
- d グロブリン
- e ミオグロビン

3 セントラルドグマはどれか。

- a RNA $\longrightarrow$ DNA $\longrightarrow$ タンパク質
- b RNA $\longrightarrow$ タンパク質 $\longrightarrow$ DNA
- c DNA $\longrightarrow$ タンパク質 $\longrightarrow$ RNA
- d DNA $\longrightarrow$ RNA $\longrightarrow$ タンパク質
- e DNA $\longrightarrow$ DNA $\longrightarrow$ タンパク質

4 根尖が上顎洞に突出する頻度が最も高いのはどれか。

- a 上顎犬歯
- b 上顎第一小白歯
- c 上顎第二小白歯
- d 上顎第一大臼歯
- e 上顎第二大臼歯

5 歯周組織で正しいのはどれか。

- (1) 接合上皮は象牙質と接している。
- (2) 歯肉溝上皮は重層扁平上皮である。
- (3) 歯根膜の線維芽細胞はコラーゲンを産生する。
- (4) 固有歯槽骨にシャーピー線維が埋入している。
- (5) 原生セメント質は細胞を封入している。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

6 生理的年齢の指標はどれか。

- (1) 骨核数
- (2) 頭指数
- (3) 発育指数
- (4) トゥースサイズレイシオ
- (5) 萌出歯数

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

7 医療面接の基本として適切でないのはどれか。

- a 清潔な服装で行う。
- b 予約時間を守る。
- c 患者の姓名を確認する。
- d 自己紹介を行う。
- e マスクを着用してあいさつする。

8 医療面接における患者への対応で適切なのはどれか。

- (1) 解釈的態度
- (2) 評価的態度
- (3) 調査的態度
- (4) 共感的態度
- (5) 支持的態度

- a (1)、(2)
- b (1)、(5)
- c (2)、(3)
- d (3)、(4)
- e (4)、(5)

9 急性炎症の症候でないのはどれか。

- a 発 赤、
- b 熱 感
- c 腫 脹
- d 出 血
- e 疼 痛

10 有床義歯による褥瘡性潰瘍の初期症候はどれか。

(1) 底面平滑

(2) 接触痛

(3) 硬 結

(4) 排 膿

(5) 発 赤

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

11 異常嚥下癖と関係があるのはどれか。

- a 叢 生
- b 過蓋咬合
- c 鞍状歯列
- d 歯槽性上下顎前突
- e 骨格性下顎前突

12 黄色歯の原因となるのはどれか。

- a クロラムフェニコール
- b 塩酸ミノサイクリン
- c セファクロル
- d クラリスロマイシン
- e 硫酸ゲンタマイシン

13 診査用模型で観察できるのはどれか。

- (1) 付着歯肉幅
- (2) 中心結節
- (3) オーバーバイト
- (4) 咬 耗
- (5) 歯周ポケット

a (1)、(2)、(3) ;

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

14 隣接面腐蝕の検出に有効なのはどれか。

- a 打診
- b 温度診
- c 透照診
- d 電気診
- e 動揺度診査

15 齧蝕感受性が最も高いのはどれか。

- a 下顎第一大臼歯
- b 上顎中切歯
- c 下顎犬歯
- d 上顎側切歯
- e 上顎第二大臼歯

16 貧血の検査項目はどれか。

- a 白血球数
- b ヘモグロビン A_{1c}
- c 赤血球数
- d 赤沈値
- e 血小板数

17 DMF 歯に含まれるのはどれか。

- a 白斑歯
- b 予防填塞歯
- c 処置歯の二次齲蝕
- d 歯周病による抜去歯
- e 外傷歯に装着した継続歯

18 水平位診療中にクラウンが口峽部に落下した。

まず行うべき対応はどれか。

- a すばやく取り出す。
- b 深呼吸をさせる。
- c 顔を横に向かせる。
- d うがいをさせる。
- e 坐位にする。

- 19 小児のインレー試適時の誤嚥防止で誤っているのはどれか。
- a 坐位で行う。
 - b ラバーダムを装着する。
 - c 口呼吸をさせる。
 - d 口腔内にガーゼを敷く。
 - e インレー体のノブに糸を付ける。

20 体内植込み式心臓ペースメーカーを装着中の患者に使用すべきでない器具はどれか。

- a レーザーメス
- b 替刃メス
- c エアータービン
- d 電気メス
- e 電気エンジン

21 口内法エックス線撮影で患者被曝低減に有効なのはどれか。

- (1) 焦点-皮膚間距離を長くする。
- (2) 照射野を大きくする。
- (3) 管電流を多くする。
- (4) 総ろ過を 2 mm Al 当量以上とする。
- (5) 高感度フィルムを用いる。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

22 一次救命処置はどれか。

- (1) 気道確保
- (2) 人工呼吸
- (3) 心マッサージ
- (4) 酸素療法
- (5) 静脈路確保

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

23 急性化膿性炎の病巣に最も多く浸潤するのはどれか。

- a 好中球
- b 好酸球
- c 形質細胞
- d リンパ球
- e 単 球

24 パノラマエックス線撮影装置の線束で正しいのはどれか。

- a 円錐状
- b 球 状
- c 扇 状
- d スリット状
- e 半球状

- 25 HBe 抗原陽性患者に使用した器具の消毒薬で有効なのはどれか。
- a グルタラール
 - b 消毒用アルコール
 - c ポビドンヨード
 - d 塩化ベンザルコニウム
 - e 塩酸クロルヘキシジン

26 有髄歯のインレー試適に際し、仮封材除去時の擦過痛と窩洞水洗時の冷水痛とが一過性にみられた。

行うべき処置はどれか。

- a 再仮封
- b イオン導入
- c 覆髄処置
- d インレー仮着
- e インレー装着

27 硬さが最も大きい材料はどれか。

- a 硬質レジン
- b 歯科用アマルガム
- c コバルトクロム合金
- d 金銀パラジウム合金
- e タイプ4 金合金

28 「80歳で自分の歯を20歯以上保有している者」の割合で健康日本21の目標値はどれか。

- a 10 % 以上
- b 20 % 以上
- c 30 % 以上
- d 40 % 以上
- e 50 % 以上

29 健康日本 21 の基本方針はどれか。

- a 第二次予防の重視
- b 生活習慣病の予防
- c 専門家による教育の徹底
- d 新興感染症の予防
- e 社会資本の整備

30 生活習慣病に含まれるのはどれか。

(1) 肺 炎

(2) 大腸癌

(3) インスリン非依存性糖尿病

(4) 循環器病

(5) B型肝炎

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

31 正しいのはどれか。

- a DNA はウラシル塩基をもつ。
- b RNA はデオキシリボースをもつ。
- c 核内の mRNA はイントロンをもつ。
- d アデニンはグアニンと相補性をもつ。
- e 原核細胞の mRNA はポリ A をもつ。

32 正しいのはどれか。

- (1) ペプチドホルモンは細胞膜と結合する。
- (2) サイトカインは細胞質の受容体と結合する。
- (3) プロスタノイドは核質の受容体と結合する。
- (4) ステロイドホルモンは細胞膜の受容体と結合する。
- (5) 脂溶性ホルモンは血中タンパク質と結合する。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

33 口腔粘膜の上皮層で神経線維が終止するのはどれか。

- a 色素細胞
- b Merkel 細胞
- c Langerhans 細胞
- d 基底細胞
- e 有棘細胞

34 純漿液腺はどれか。

- (1) 口唇腺
- (2) Ebner 腺
- (3) 耳下腺
- (4) 頬 腺
- (5) 口蓋腺

- a (1)、(2)
- b (1)、(5)
- c (2)、(3)
- d (3)、(4)
- e (4)、(5)

35 顎舌骨筋と同じ神経に支配されるのはどれか。

- a 顎二腹筋前腹
- b 顎二腹筋後腹
- c 茎突舌骨筋
- d オトガイ舌骨筋
- e 甲状舌骨筋

36 舌尖部のリンパが主に流入するのはどれか。

- a 頬リンパ節
- b 下顎リンパ節
- c 顎下リンパ節
- d 上深頸リンパ節
- e オトガイ下リンパ節

37 顔面皮膚を支配しないのはどれか。

- a 眼窩上神経
- b 滑車上神経
- c 耳介側頭神経
- d 中間神経
- e 頬神経

38 自律神経の拮抗性支配を受けないのはどれか。

- a 心 臓
- b 肝 臓
- c 気 管
- d 胃 腺
- e 唾液腺

39 口蓋帆に含まれるのはどれか。

- (1) 口蓋縫線
- (2) 口蓋垂
- (3) 口蓋舌弓
- (4) 口蓋咽頭弓
- (5) 口蓋ヒダ

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

40 正しい組合せはどれか。

- a Ruffini 小体 ————— 歯髄感覚
- b 中脳路核 ————— 粘膜感覚
- c 三叉神経視床路 ————— 温度感覚
- d 中脳水道周囲灰白質 ————— 歯根膜感覚
- e 視 床 ————— 渴 き

41 障害によって嘔声を生じるのはどれか。

- a 上喉頭神経
- b 下喉頭神経
- c 顔面神経頸枝
- d 舌咽神経咽頭枝
- e 迷走神経咽頭枝

42 正しい組合せはどれか。

- a 好塩基球 ————— IgG
- b 好酸球 ————— セロトニン
- c B細胞 ————— パーフォリン
- d T細胞 ————— IgA
- e 肥満細胞 ————— IgE

43 ペニシリン投与直後に全身に発疹が生じた。

関連するのはどれか。

a IgA

b IgD

c IgE

d IgG

e IgM

44 ペリクルの働きはどれか。

- (1) 咀嚼・嚥下機能を補助する。
- (2) 口腔内の pH を中性に保つ。
- (3) 歯面を物理化学的に保護する。
- (4) 歯垢形成の起点となる。
- (5) 頬粘膜の感染を防止する。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

45 歯肉溝滲出液で誤っているのはどれか。

- a Na^+ 濃度が K^+ 濃度より高い。
- b 炎症によって増加する。
- c 補体成分が存在する。
- d コラゲナーゼが存在する。
- e IgA は二量体が多い。

46 慢性骨髄性白血病にみられるフィラデルフィア染色体の異常はどれか。

- a 欠 失
- b 転 座
- c 逆 位
- d 重 複
- e イソ染色体

47 酵素作用をもつ炎症促進因子はどれか。

- a ヒスタミン
- b カリジン
- c プラスミン
- d キニナーゼ
- e ロイコトリエン

48 肉芽組織の増殖を伴うのはどれか。

- (1) 歯根嚢胞
- (2) 巨大型セメント質腫
- (3) 口腔扁平苔癬
- (4) 線維性骨異形成症
- (5) 歯髄ポリープ

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

49 微生物と有効な消毒薬との組合せで正しいのはどれか。

- a B型肝炎ウイルス ————— 塩化ベンゼトニウム
- b ヒト免疫不全ウイルス ————— クレゾール石けん液
- c 芽胞形成性細菌 ————— 消毒用エタノール
- d 結核菌 ————— グルコン酸クロルヘキシジン
- e カンジダ ————— ポビドンヨード

50 食中毒の原因菌と病原因子との組合せで正しいのはどれか。

- a ボツリヌス菌 ————— ベロトキシン
- b 黄色ブドウ球菌 ————— エンテロトキシン
- c サルモネラ菌 ————— ヘモリシン
- d 腸炎ビブリオ ————— ロイコトキシン
- e 病原性大腸菌 ————— エンドトキシン

51 オートクレーブが有効でないのはどれか。

- a プリオン
- b ウイルス
- c 芽 胞
- d 真 菌
- e 原 虫

52 インコを飼っている人が高熱を発した。アンピシリンは無効であったが、クラリスロマイシンで治癒した。

考えられる病原体はどれか。

- a ウイルス
- b スピロヘータ
- c リケッチア
- d クラミジア
- e プリオン

53 舌表面に白色の斑点状病変があり、塗沫標本のグラム染色によって青く濃染する
5 μm ほどの卵円形の細胞がみられた。

この病原体に有効なのはどれか。

- a ペニシリン G
- b アムホテリシン B
- c エリスロマイシン
- d ストレプトマイシン
- e アシクロビル

54 舌に発生した腫瘍性病変。組織所見で紡錘形細胞の充実性増殖を示し、免疫染色でケラチン強陽性、電顕標本でデスモゾームを認めた。

病理診断名はどれか。

- a 神経鞘腫
- b 悪性黒色腫
- c 扁平上皮癌
- d 平滑筋肉腫
- e 血管肉腫

55 顔面打撲の1週後、皮膚が赤色から青黄色に変化した。

沈着した物質はどれか。

- a ヘモジデリン
- b リポフスチン
- c メラニン
- d ヘモグロビン
- e コレステリン

56 ストレスによって起こるのはどれか。

(1) 血中遊離脂肪酸の減少

(2) 血中アミノ酸の増加

(3) 骨成長の抑制

(4) 肝臓の糖新生の促進

(5) 胃腺のペプシン分泌の抑制

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

57 セメント質で結合しているのはどれか。

- a 癒着歯
- b 双生歯
- c 融合歯
- d 歯内歯
- e 桑実状臼歯

58 鰓嚢胞の成因で考えられるのはどれか。

- a 発育抑制
- b 癒合不全
- c 位置異常
- d 遺 残
- e 過剰発育

59 口腔扁平上皮癌に多い転移経路はどれか。

- a 血行性転移
- b 播 種
- c 経管性転移
- d 接触性転移
- e リンパ行性転移

60 ウイルス感染によるのはどれか。

- a 慢性硬化性唾液腺炎
- b サルコイドーシス
- c Sjögren 症候群
- d 流行性耳下腺炎
- e 肉芽腫性巨細胞性唾液腺炎

61 口渇を起こす因子はどれか。

- a 血圧上昇
- b 心拍数減少
- c 血糖値低下
- d 呼吸数増加
- e 細胞外液量減少

62 10 Gy の放射線全身被曝で 1 週以内に現れる症状はどれか。

- (1) 脱 毛
- (2) 発 熱
- (3) 下 痢
- (4) 嘔 吐
- (5) けいれん

a (1)、(2)、(3)

, b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

63 歯肉出血を起こす血液疾患のうち、自己抗体が原因となるのはどれか。

- a 急性白血病 1 2
- b 再生不良性貧血 3 4
- c 特発性血小板減少性紫斑病
- d 先天性溶血性貧血
- e 鉄欠乏性貧血

64 正しい組合せはどれか。

- a 咬 耗 ————— エックス線検査
- b 象牙質知覚過敏 ————— 温度診
- c 歯根破折 ————— 透照診
- d 歯根吸収 ————— 触 診
- e 露 髄 ————— 電気診

65 運動機能が障害されているのはどれか。

- a 知的障害
- b 統合失調症(精神分裂病)
- c 脳性麻痺
- d 躁うつ病
- e 自閉症

66 出血性ショックでみられないのはどれか。

- a 皮膚乾燥
- b 頻 脈
- c 静脈虚脱
- d 顔面蒼白
- e 尿量減少

67 根拠に基づいた医療 (EBM) に該当しないのはどれか。

- a 解決すべき臨床的な疑問を明瞭化する。
- b 必要な情報を先輩から集める。
- c 情報の妥当性と臨床への適応とを吟味する。
- d 治療法の根拠を患者に開示し実践する。
- e 問題の明示から実践までの経過を評価する。

68 心電図で心房の興奮を示すのはどれか。

- a P 波
- b QRS 群
- c QT 部
- d ST 部
- e T 波

69 放射線の実効線量の単位はどれか。

a C/kg

b J/kg

c Bq

d Gy

e Sv

70 エックス線透過像と不透過像との混在を特徴とする顎骨病変はどれか。

- (1) 歯原性角化嚢胞
- (2) 含歯性嚢胞
- (3) エナメル上皮腫
- (4) 腺様歯原性腫瘍
- (5) 石灰化歯原性嚢胞

- a (1)、(2)
- b (1)、(5)
- c (2)、(3)
- d (3)、(4)
- e (4)、(5)

71 エックス線撮影時に散乱線を減少させるのはどれか。

- a スリット
- b カセット
- c グリッド
- d セファロスタット
- e スクリーン

72 エックス線写真全体が黒すぎてよく判読できなかった。

考えられる原因はどれか。

(1) 撮影時間が長い。

(2) 現像時間が長い。

(3) 現像液温が高い。

(4) 現像液が古い。

(5) 定着時間が長い。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

73 平行法と二等分法とで同じなのはどれか。

- a 水平的射入角度
- b 被曝線量
- c 照射時間
- d コーンの長さ
- e 画像の歪み

74 咬翼法が診断に有用なのはどれか。

- (1) 埋伏歯
- (2) 顎下腺唾石症
- (3) 根尖性歯周炎
- (4) 辺縁性歯周炎
- (5) 隣接面齲蝕

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

75 エックス線検査で造影効果があるのはどれか。

- (1) 空 気
- (2) ヨード
- (3) バリウム
- (4) ガドリニウム
- (5) テクネチウム

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

76 MRI の T_1 強調像で信号強度が最も高いのはどれか。

- a 血 管
- b 筋 肉
- c 脂肪組織
- d 大唾液腺
- e 皮質骨

77 骨シンチグラフィで強い集積を示すのはどれか。

- (1) 顎骨骨髓炎
- (2) 歯原性角化嚢胞
- (3) エナメル上皮腫
- (4) 歯牙腫
- (5) 線維性骨異形成症

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

78 超音波検査の適応はどれか。

- (1) 上顎洞炎
- (2) 類皮嚢胞
- (3) ガマ腫
- (4) 頸部転移リンパ節
- (5) 歯根嚢胞

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

79 上下顎全部床義歯を装着したが、力行音が発音しにくいという。

診査すべき部位はどれか。

- a 舌小帯
- b 口蓋小窩
- c 外斜線
- d 筋突起
- e 頬小帯

80 窩縁斜面付与で誤っているのはどれか。

- a エナメル質窩縁の保護
- b 辺縁封鎖性の向上
- c インレー体の浮き上がり補正
- d インレー体の膨張補正
- e エッチング効果の増大

81 膿瘍切開で誤っているのはどれか。

- a 波動部位を確認する。
- b 血管、神経を避ける。
- c 膿瘍腔内に浸潤麻酔をする。
- d 口腔外の切開を最小限にする。
- e 切開部にドレーンを挿入する。

82 表面麻酔作用がないのはどれか。

- a 塩酸コカイン
- b 塩酸プロカイン
- c 塩酸リドカイン
- d 塩酸テトラカイン
- e 塩酸ジブカイン

83 経口気管内挿管の注意事項で正しいのはどれか。

- (1) 歯の保護
- (2) 声門の直視
- (3) 自律神経反射の抑制
- (4) 低頭位の保持
- (5) 舌根部の圧迫

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

84 酸素分圧が最も高いのはどれか。

- a 組織液
- b 肺胞気
- c 静脈血
- d 動脈血
- e 毛細管血

85 アシドーシスの原因はどれか。

- (1) O_2 分圧の上昇
- (2) 換気量の増加
- (3) 肺内シャント
- (4) 気道抵抗の上昇
- (5) O_2 消費の低下

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

86 成人に対する心マッサージで正しいのはどれか。

- (1) ソファの上で行う。
- (2) 2～3分毎に呼吸と循環とを観察する。
- (3) 人工呼吸2回につき心マッサージを15回行う。
- (4) 両手掌を並べて圧迫する。
- (5) 毎分40回圧迫する。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

87 腫瘍の放射線感受性が高い順の組合せで正しいのはどれか。

- a 扁平上皮癌 > 骨肉腫 > 悪性リンパ腫
- b 扁平上皮癌 > 悪性リンパ腫 > 骨肉腫
- c 骨肉腫 > 扁平上皮癌 > 悪性リンパ腫
- d 悪性リンパ腫 > 骨肉腫 > 扁平上皮癌
- e 悪性リンパ腫 > 扁平上皮癌 > 骨肉腫

88 アンダーカットの強い上顎無歯顎に対する全部床義歯を作製することとした。

精密印象に適するのはどれか。

- a シリコーンゴム印象材
- b アルジネート印象材
- c 酸化亜鉛ユージノール印象材
- d コンパウンド印象材
- e 印象用石膏

89 腎尿細管で再吸収されやすい薬物の状態はどれか。

a グルクロン酸抱合型

b 硫酸抱合型

c 解離型

d アセチル化型

e 非イオン型

90 局所麻酔薬を注射したところ、口唇と四肢とのしびれ、呼吸困難を訴え、皮膚に膨疹が現れた。

まず投与する薬物はどれか。

- a 塩酸ジフェンヒドラミン
- b ミダゾラム
- c 塩酸エピネフリン
- d 硫酸アトロピン
- e 塩化アセチルコリン

91 歯周病患者と健常者とを対象に歯周病と生活習慣との関連性を調査した。

この研究方法はどれか。

- a 記述疫学研究
- b コホート研究
- c 介入疫学研究
- d 患者対照研究
- e 地域診断研究

- 92 A小学校ではフッ化物洗口を5年前から実施し、B小学校ではしていない。両校の1年生時と現在の6年生との一人平均DMFTを表に示す。

	5年前(1年生時)のDMFT	現在(6年生)のDMFT
A小学校	0.2	0.6
B小学校	0.2	1.2

齲蝕抑制率はどれか。

- a 40 %
- b 50 %
- c 60 %
- d 70 %
- e 80 %

93 学校の定期健康診断で CO と判定された学童が来院した。

まず行うべき対応はどれか。

- (1) 直ちに治療を行う。
- (2) 経過観察とする。
- (3) リスク診断を行う。
- (4) 精密な診査を行う。
- (5) 予防填塞を行う。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

94 歯科検診の結果を表に示す。

被検者数： 50 名

現在歯数： 1,150 歯

D 歯数： 100 歯

M 歯数： 250 歯

F 歯数： 300 歯

DMF 歯率はどれか。

a 13.0

b 28.6

c 34.8

d 46.4

e 56.5

95 OHI の記録を表に示す。

	debris				calculus			
	右側 臼歯部	前歯部	左側 臼歯部	計	右側 臼歯部	前歯部	左側 臼歯部	計
上 顎	2※ 2※※	1 1	2 2	5 5	0 0	0 1	0 0	0 1
下 顎	1 2	1 1	× ×	2 3	0 2	0 1	× ×	0 3

※唇・頬側、※※舌・口蓋側、×対象歯なし

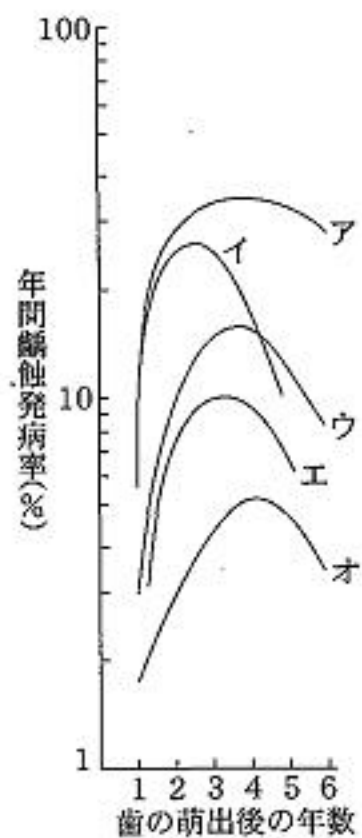
OHI の値はどれか。

- a 0.8
- b 1.0
- c 1.9
- d 3.2
- e 3.8

96 歯垢で正しいのはどれか。

- a 唾液分泌量が多いほど付着しやすい。
- b 新しい歯垢では微好気性菌の割合が高い。
- c 深い歯周ポケット内では通性嫌気性菌の割合が高い。
- d マトリックスの不溶性は α -1, 4グルカンの存在による。
- e マトリックスの多糖類は細菌のインペルターゼによって合成される。

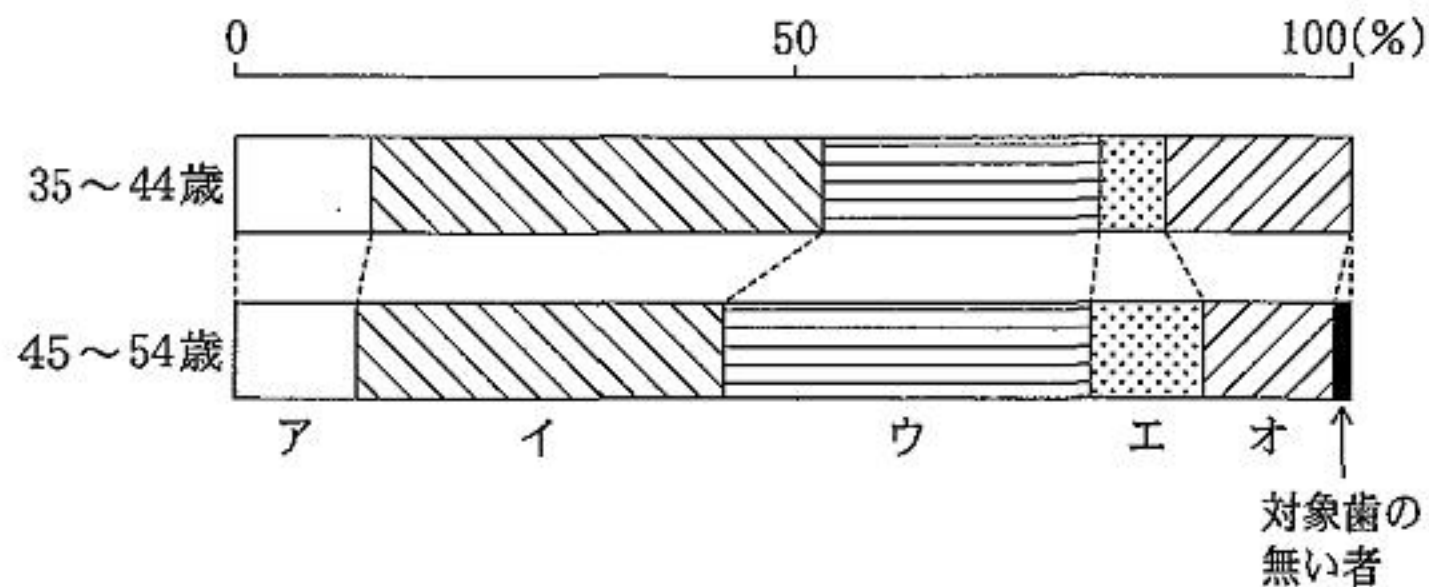
97 男性の上顎永久歯における歯種別の年間齲蝕発病率曲線を図に示す。



犬歯に該当するのはどれか。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

98 平成 11 年歯科疾患実態調査の CPI 調査結果を図に示す。



コード 4 に該当するのはどれか。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

99 喫煙と歯周病との関連を調査した結果を表に示す。

	歯 周 病	
	有	無
喫 煙 者	50 名	10 名
非喫煙者	20 名	20 名

喫煙のオッズ比はどれか。

- a 1.25
- b 1.50
- c 2.33
- d 3.00
- e 5.00

100 フッ化物洗口の毎日法で適切なフッ素濃度 (ppmF) はどれか。

- a 2.5
- b 25
- c 250
- d 2,500
- e 25,000

101 学校医の職務でないのはどれか。

- a 健康診断
- b 健康相談
- c 保健学習
- d 疾病予防
- e 保健指導

102 正しいのはどれか。

- a 近年の低出生率は 30～40 歳女子の出生率の低下による。
- b 合計特殊出生率は 1 人の女子が一生の間に生むとしたときの子どもの数をいう。
- c 総再生産率は 15～49 歳女子の年齢別出生率の合計をいう。
- d 純再生産率は 1 人の女子が一生の間に生むとしたときの男児の数をいう。
- e 純再生産率が 2.0 の場合は将来人口の静止が推定できる。

103 国民栄養調査におけるカルシウム、鉄、ビタミンA、ビタミンB₁及びビタミンCの摂取量について、各栄養素の所要量を100として算出した値を表に示す。

栄養素	①	②	③	④	⑤
摂取量	277	97	111	159	151

栄養素①が欠乏した際に現れる疾病はどれか。

- a 脚 気
- b 夜盲症
- c 壊血病
- d 骨粗鬆症
- e 溶血性貧血

104 ある成人集団の1人1日当たり平均栄養摂取の状況を表に示す。

栄 養 素 等	摂取量
総エネルギー摂取量	1,980 kcal
脂肪からのエネルギー摂取量／総エネルギー摂取量(比)	36 %
カルシウム	610 mg
食 塩	10 g
鉄	11 mg

改善すべきものはどれか。

- a 総エネルギー
- b 脂 肪
- c カルシウム
- d 食 塩
- e 鉄

105 地球温暖化防止に関するものはどれか。

- a 京都議定書
- b ワシントン条約
- c ラムサール条約
- d モントリオール議定書
- e ロンドン条約

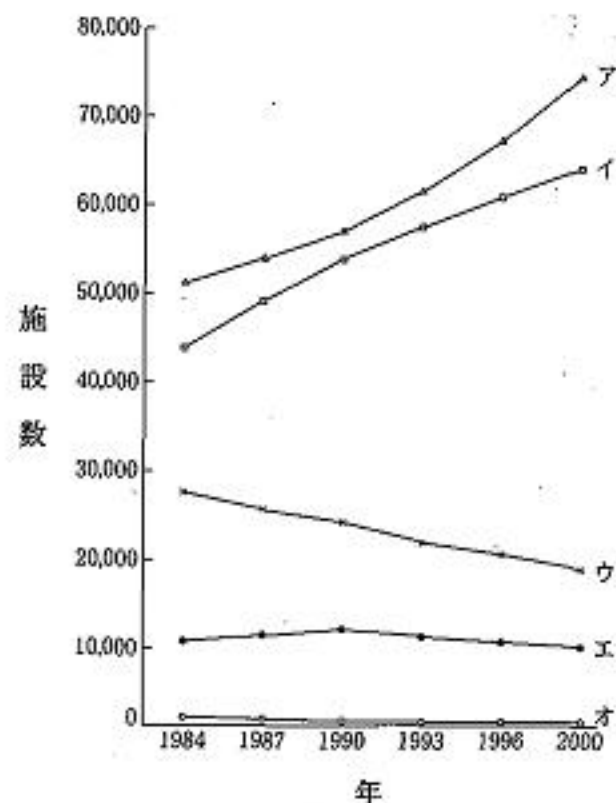
106 正しい組合せはどれか。

- a ダイオキシン ————— 骨粗鬆症
- b ポリ塩化ビフェニール ————— 血液疾患
- c 内分泌攪乱化学物質(環境ホルモン) ————— 生殖機能障害
- d 光化学オキシダント ————— が ん
- e トリクロロエチレン ————— じん肺

107 歯科医療機関の規定で正しいのはどれか。

- a 開設者は歯科医師でなければならない。
- b 開設は開設地の市町村長に届け出なければならない。
- c 開設は開設後 4 週以内に届け出なければならない。
- d 休止した診療所の再開には届け出が必要である。
- e 20 名以上の入院施設を開設する場合は届け出が必要である。

108 病院、有床一般診療所、無床一般診療所、有床歯科診療所および無床歯科診療所の施設数の年次推移を図に示す。



無床歯科診療所に該当するのはどれか。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

109 我が国の歯科医療費で正しいのはどれか。

- a 総額は減少傾向にある。
- b 総額は 30 兆円を超えている。
- c 国民医療費の約 20% を占める。
- d 自由診療費の割合は医科より高い。
- e 構成割合が最も高いのは指導管理料である。

110 介護保険で誤っているのはどれか。

- a 給付の申請は家族ができる。
- b 給付申請に基づいて基本調査を行う。
- c 認定審査には主治医の意見書が必要である。
- d サービス計画は被保険者自身が作成できる。
- e サービス実施後は1年毎に内容を検討する。

- 1 3歳児で正しいのはどれか。
 - a 抽象的な思考が可能である。
 - b 親への依存度が低い。
 - c 自我が芽生える。
 - d 物事を最後まで遂行できる。
 - e 社会性が確立する。

2 2歳の女儿。多数歯の齲蝕を主訴として来院した。全身疾患の既往歴はないが、診療への協力が得られない。

歯科的対応に用いられるのはどれか。

- (1) 行動変容法
- (2) 笑気吸入鎮静法
- (3) 前投薬法
- (4) 抑制法
- (5) 全身麻酔法

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

3 乳歯齲蝕で正しいのはどれか。

- (1) 自覚症状が明確である。
- (2) 進行が緩慢である。
- (3) 平滑面には発生しない。
- (4) 修復象牙質の形成量が多い。
- (5) 歯髄炎に移行しやすい。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

4 幼若永久歯の特徴はどれか。

- (1) 象牙芽細胞が少ない。
- (2) エナメル質が成熟している。
- (3) 小窩裂溝が明瞭である。
- (4) 切縁結節が存在する。
- (5) 歯髄腔が大きい。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

5 既製乳歯冠で正しいのはどれか。

- (1) 歯質の削除量が少ない。
- (2) 間接法より直接法が多い。
- (3) 保隙装置の支台として用いられる。
- (4) 咬合接触の確保が困難である。
- (5) 審美性に優れている。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

- 6 乳歯の生理的歯根吸収で正しいのはどれか。
- a 後継永久歯の存在が必須である。
 - b 吸収に伴い歯髄は線維性組織に置換する。
 - c 乳切歯では歯根唇側中央付近から始まる。
 - d 乳犬歯では根尖から水平に進行する。
 - e 乳臼歯では髄床底の吸収が先行する。

7 乳歯の歯周組織の特徴はどれか。

- a 歯根膜腔は狭い。
- b 歯槽硬線は明瞭である。
- c 歯槽骨梁は密である。
- d 歯根膜線維は密である。
- e セメント質は薄い。

- 8 乳歯の外傷で正しいのはどれか。
- a 受傷頻度は男児より女児に多い。
 - b 1～2歳児に多い。
 - c 部位は下顎に多い。
 - d 原因は転落が多い。
 - e 脱臼より破折が多い。

9 抜歯に際し幼児と成人とで異なるのはどれか。

- a 局所麻酔薬の総量
- b 手術野の消毒
- c 手術の手順
- d 術後の止血処置
- e 術後の注意事項

10 正しい組合せはどれか。

- | | | |
|-----------------|-------|----------|
| (1) 上皮真珠 | ————— | 紅暈を伴う小斑点 |
| (2) Koplik 斑 | ————— | 黄白色の小腫瘤 |
| (3) Riga-Fede 病 | ————— | 外傷性潰瘍 |
| (4) 鵝口瘡 | ————— | 乳白色の被苔 |
| (5) 萌出嚢胞 | ————— | 齒槽堤の膨隆 |

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

11 正しい組合せはどれか。

- | | | |
|----------------|-------|------------|
| (1) 外傷乳歯の埋入 | ————— | 後継永久歯の萌出障害 |
| (2) 第二乳臼歯の低位 | ————— | 第一大臼歯の近心傾斜 |
| (3) 上顎中切歯の埋伏 | ————— | 上顎側切歯の近心傾斜 |
| (4) 上顎側切歯の先天欠如 | ————— | 上顎中切歯の捻転 |
| (5) 第一大臼歯の異所萌出 | ————— | 第二乳臼歯の遠心傾斜 |

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

12 喪失部位と保隙装置との組合せで正しいのはどれか。

- a 歯齡ⅡAの上顎両側乳中切歯 ——— リンガルアーチ
- b 歯齡ⅡAの下顎片側第一乳臼歯 ——— ディスタルシュー
- c 歯齡ⅡCの上顎両側第二乳臼歯 ——— Nanceのホールディングアーチ
- d 歯齡ⅢAの下顎両側第一乳臼歯 ——— 可撤式保隙装置
- e 歯齡ⅢBの上顎片側第二乳臼歯 ——— クラウンループ

13 正しい組合せはどれか。

- a 無汗型外胚葉性異形成症 ————— 歯の咬耗
- b くる病 ————— 歯肉の肥大
- c 甲状腺機能亢進症 ————— 歯列の狭窄
- d 先天性表皮水疱症 ————— 歯の形成不全
- e ネフローゼ症候群 ————— 歯の着色

14 歯が早期に脱落する疾患はどれか。

- a 骨形成不全症
- b 低ホスファターゼ症
- c 鎖骨頭蓋異骨症
- d Crouzon 症候群
- e Pierre Robin 症候群

- 15 喪失歯の増加に伴う顔貌の変化で正しいのはどれか。
- a 頬部の陥凹
 - b 鼻唇溝の消失
 - c 口唇部の突出
 - d オトガイ部の後退
 - e 下顎角の鋭角化

16 7歳の男児。定期診査で来院した。来院時のエックス線写真(別冊No. 1)を別に示す。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 上顎右側第二小臼歯は認められない。
- b 上顎左側臼歯部に過剰歯が認められる。
- c 下顎右側第二乳臼歯は脱落している。
- d 下顎両側中切歯の歯根は未完成である。
- e 下顎両側第二大臼歯の歯冠は完成している。



17 6歳の男児。定期診査で来院した。来院時の口腔内写真(別冊No. 2)を別に示す。

現時点での下顎第一大臼歯の齲蝕予防処置で適切なのはどれか。

- a 低出力レーザー照射
- b グラスアイオノマーセメントによる予防填塞
- c レジンコーティング
- d フッ化水素酸塗布
- e フッ化ジアンミン銀塗布



18 11歳の男児。上顎両側中切歯の打撲を主訴として受傷直後に来院した。1|1は電気診に反応し、打診痛は認められず、動揺は生理的範囲内である。初診時の口腔内写真(別冊No. 3A)とエックス線写真(別冊No. 3B)とを別に示す。

まず行うべき対応はどれか。

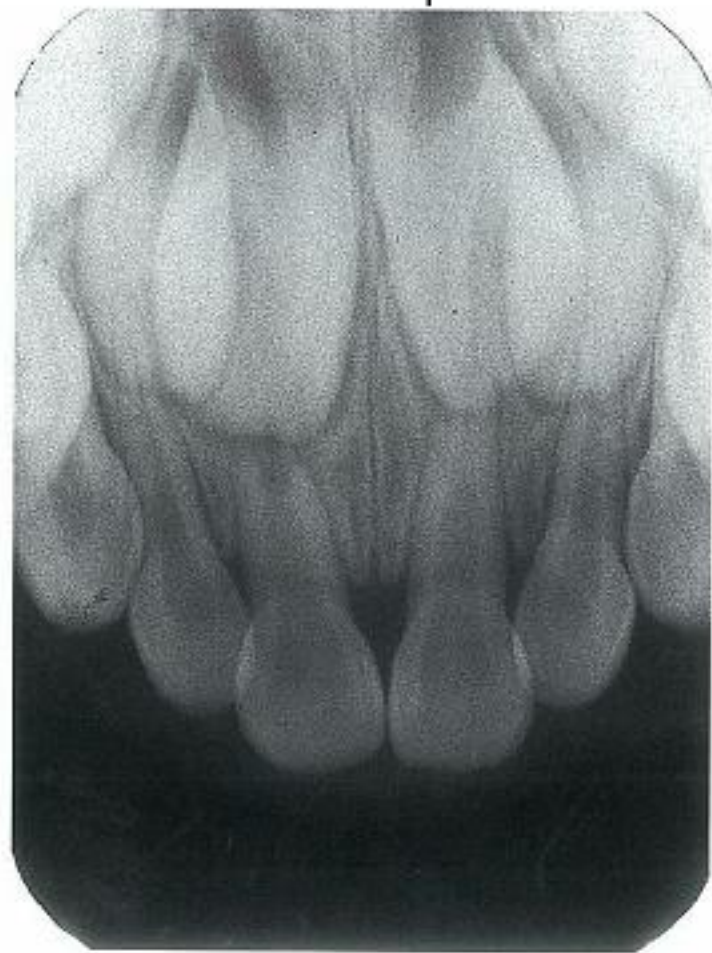
- a 経過観察
- b 形態修正
- c 歯冠修復
- d 生活歯髄切断
- e 抜 髄



19 3歳の女兒。上顎右側乳中切歯の異常を主訴として来院した。2か月前に顔面を強打したという。初診時の口腔内写真(別冊No. 4A)とエックス線写真(別冊No. 4B)とを別に示す。

疑われる疾患はどれか。

- a 急性単純性歯髄炎
- b 急性化膿性歯髄炎
- c 慢性潰瘍性歯髄炎
- d 慢性増殖性歯髄炎
- e 歯髄壊死



20 5歳の女児。下顎左側乳臼歯部の疼痛を主訴として来院した。1か月前から時々疼痛を訴えていたが、昨夜は強い痛みのためほとんど眠っていないという。ⅡEの頬側歯肉に圧痛があり、動揺度は1度である。初診時の口腔内写真(別冊No. 5A)とエックス線写真(別冊No. 5B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

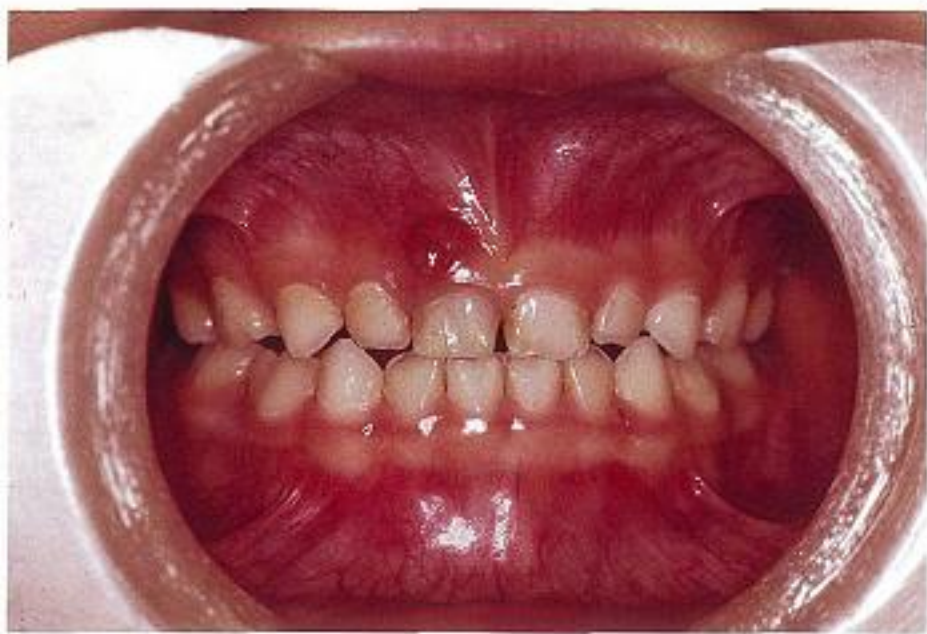
- a 歯髄鎮痛消炎療法
- b 生活歯髄切断法
- c 抜髄法
- d 感染根管治療
- e 抜 歯



21 4歳の女兒。上顎右側乳中切歯部の異常を訴えて来院した。3日前に気付いたという。Aは軽度の打診痛を訴えるが、自発痛と動揺はない。初診時の口腔内写真(別冊No. 6A)とエックス線写真(別冊No. 6B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 抜髄法
- b 感染根管治療
- c 根尖搔爬法
- d 歯根尖切除法
- e 抜 歯



22 12歳の男児。舌の違和感を主訴として来院した。5日前に膨隆が生じたという。疼痛はない。初診時の口腔内写真(別冊No. 7)を別に示す。

疑われる疾患はどれか。

- a Blandin-Nuhn 腺嚢胞
- b 類皮嚢胞
- c 鰓嚢胞
- d リンパ管腫
- e ガマ腫



23 12歳の女兒。齲蝕予防を希望して来院した。顔貌の異常は出生時から認められ、生後1年時にけいれん発作で入院、てんかんと診断されたという。現在も抗けいれん薬を服用している。初診時の顔貌写真(別冊No. 8)を別に示す。

顔貌異常と関連すると思われるのはどれか。

- a Sturge-Weber 症候群
- b von Recklinghausen 病
- c Papillon-Lefèvre 症候群
- d Albright 症候群
- e Gardner 症候群



24 5歳の女児。臼歯部の噛み方が気になることを主訴として来院した。6か月前まで吸指癖があったという。初診時の口腔内写真(別冊No. 9A、B)を別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 臼歯部の咬合挙上
- b 上顎歯列弓の拡大
- c 下顎歯列弓の縮小
- d 上顎乳切歯の舌側傾斜
- e 下顎乳切歯の唇側傾斜



25 4歳の男児。口腔健康管理を希望して来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 10A、B)と顔貌写真(別冊No. 10C)とを別に示す。

最も頻度の高い合併症はどれか。

- a 気管支炎
- b 心奇形
- c ネフローゼ症候群
- d 四肢の運動障害
- e 腸閉塞



26 齲蝕象牙質の透明層で正しいのはどれか。

- (1) 齲蝕検知液で染色される。
- (2) 細菌の侵入が認められる。
- (3) 齲蝕象牙質の最外層である。
- (4) 再石灰化現象が認められる。
- (5) 象牙細管の走向は規則的である。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

27 レジンコーティング法を用いたレジンインレー窩洞の仮封に用いられるのはどれか。

- (1) 酸化亜鉛ユージノールセメント
- (2) 水硬性セメント
- (3) ストップング
- (4) 粉液重合型レジン
- (5) グラスアイオノマーセメント

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

28 咬合面小窩裂溝部齲窩の開拡に用いられるのはどれか。

- (1) CO₂ レーザー
- (2) ホワイトポイント
- (3) Er:YAG レーザー
- (4) ダイヤモンドポイント
- (5) カーボランダムポイント

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

29 光重合型コンポジットレジンで正しいのはどれか。

- (1) 金合金より引張り強さが小さい。
- (2) エナメル質より引張り強さが大きい。
- (3) グラスアイオノマーセメントより圧縮強さが小さい。
- (4) 陶材より弾性率が大きい。
- (5) 陶材より硬さが小さい。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

30 レジン修復における接着操作で正しい使用順序はどれか。

- a プライマー → リン酸 → ボンディング材
- b プライマー → ボンディング材 → リン酸
- c リン酸 → ボンディング材 → プライマー
- d リン酸 → プライマー → ボンディング材
- e ボンディング材 → リン酸 → プライマー

31 正しいのはどれか。

- a グラスアイオノマーセメントはカンファーキノンを含む。
- b 光硬化型グラスアイオノマーセメントはレジンを含む。
- c 接着性レジンセメントはリン酸を含む。
- d コンポジットレジンポリカーボネートを含む。
- e デュアルキュア型レジンポリアクリル酸を含む。

32 従来型ガラスアイオノマーセメントの硬化で正しいのはどれか。

- (1) 粉末から放出された金属イオンが硬化に関与する。
- (2) 酒石酸によって硬化時間は短縮される。
- (3) 感水し白濁すると物性低下が起こる。
- (4) 歯面に前処理を行うと硬化が促進される。
- (5) 離水し亀裂が入っても水分に触れると元に戻る。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

33 寒天・アルジネート連合印象法で正しいのはどれか。

- (1) 寒天は室温で 30 秒間冷却して使用する。
- (2) 窩洞および周囲の歯面に寒天を塗布する。
- (3) 寒天が硬化する前にアルジネートを圧接する。
- (4) 印象採得は 30 秒以内に終了する。
- (5) 印象表面を十分に乾燥してから石膏を注入する。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

34 過酸化水素水を用いた歯の漂白の適応はどれか。

- (1) Feinman 4 度の変色
- (2) フッ化ジアンミン銀による変色
- (3) アマルガムによる変色
- (4) 歯髄死による変色
- (5) 加齢による変色

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

35 早期発症型歯周炎の特徴はどれか。

- (1) 顕著な歯肉発赤
- (2) 多量の歯石沈着
- (3) 深い歯周ポケット
- (4) 重度の歯槽骨吸収
- (5) 著しい歯肉退縮

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

36 食片圧入の原因はどれか。

- (1) 歯列不正
- (2) 隣接面齧蝕
- (3) 歯の動揺
- (4) エナメル突起
- (5) 咬頭干渉

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

37 プラークコントロールで正しいのはどれか。

- (1) 水流による清掃用具はプラーク除去効果大きい。
- (2) 露出歯根面にはフロスを用いる。
- (3) パス法は毛束の脇腹を用いる刷掃法である。
- (4) 歯ブラシの毛先を使う方法はプラーク除去効果大きい。
- (5) 消毒薬による洗口はプラークの蓄積を抑制する。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

38 正しい組合せはどれか。

- (1) フラップ手術 ————— 二次切開
- (2) GTR 法 ————— 歯肉溝切開
- (3) 新付着術 ————— 外斜切開
- (4) 歯周ポケット搔爬術 ————— 内斜切開
- (5) 小帯切除術 ————— V 字切開

- a (1)、(2)、(3) i
- b (1)、(2)、(5)
- c (1)、(4)、(5)
- d (2)、(3)、(4)
- e (3)、(4)、(5)

39 根分岐部に限局した下顎大白歯 Glickman 3 級病変の適切な処置法はどれか。

- (1) トライセクション
- (2) GTR 法
- (3) ルートセパレーション
- (4) トンネリング
- (5) ルートリゼクション

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

40 歯周治療時の咬合調整で正しいのはどれか。

- (1) 水平方向の咬合圧を歯軸方向にする。
- (2) 咬合高径を変えない。
- (3) 咬合接触面積を広くする。
- (4) 咬合性外傷歯では対咬しないように削合する。
- (5) 早期接触部位から削合する。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

41 歯周基本治療における局所薬物配送システムで正しいのはどれか。

- (1) バイオフィルムを破壊する。
- (2) 徐放性製剤が用いられる。
- (3) 偏性嫌気性菌への効果を期待する。
- (4) 歯周基本治療の最初の時期に行う。
- (5) アミノグリコシド系抗菌薬が用いられる。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

42 55歳の男性。上顎前歯部の歯肉腫脹を主訴として来院した。1か月前から21|12の歯間部歯肉に違和感があるという。同部のプロービングデプスは8～10 mmであり、エックス線写真では1|1遠心部に垂直性骨欠損が認められる。

歯周基本治療後に行う処置はどれか。

- a 歯周ポケット搔爬術
- b 新付着術
- c 歯肉整形術
- d 歯肉切除術
- e 歯肉剝離搔爬術

43 歯髄壊疽で正しいのはどれか。

- a 麻酔抜髄法の適応である。
- b 電気診で反応閾値が低下する。
- c 温度診に反応する。
- d 嫌気性菌感染による悪臭がある。
- e 根尖部にエックス線透過像を認める。

44 電気診で正しいのはどれか。

- (1) 感覚神経の反応をみる。
- (2) 対照歯の診査が必要である。
- (3) 歯髄疾患の鑑別が行える。
- (4) 修復物に電極を当てて使用する。
- (5) 根未完成歯では閾値が上昇する。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

45 正しい組合せはどれか。

- | | | |
|--------------|-------|-------|
| (1) 歯髄充血 | ————— | 間接覆髄法 |
| (2) 歯髄壊死 | ————— | 失活抜髄法 |
| (3) 急性化膿性歯髄炎 | ————— | 生活断髄法 |
| (4) 慢性潰瘍性歯髄炎 | ————— | 直接覆髄法 |
| (5) 慢性増殖性歯髄炎 | ————— | 麻酔抜髄法 |

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

46 根尖性歯周炎の特徴はどれか。

- (1) 急性炎症は骨内期から歯根膜期へと進展する。
- (2) 急性化膿性炎では主にリンパ球が浸潤している。
- (3) 慢性化膿性炎では膿瘍周囲は線維性組織からなる。
- (4) 歯根肉芽腫では周囲歯槽骨に類骨添加がある。
- (5) 歯根嚢胞は偽嚢胞である。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

47 側方加圧根管充填法で正しいのはどれか。

- a マスターポイントは作業長より 1 mm 短い位置で適合させる。
- b アクセサリーポイントは上下運動させながら根管に挿入する。
- c 根管プラグーはシーラーを根管に填入するのに用いる。
- d 根管スプレッターはポイントを側方に加圧するのに用いる。
- e レンツロは加熱切断したポイント断端の圧接に用いる。

48 根管充填後の治癒で正しいのはどれか。

- (1) セメント質の増生
- (2) マラッセ上皮遺残の増殖
- (3) シャーピー線維の減少
- (4) 線維性結合組織による瘢痕化
- (5) 溢出根管充填剤の線維性被包化

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

49 正しい組合せはどれか。

- (1) 歯根切除法 ————— 髓床底穿孔
- (2) 歯根尖切除法 ————— 根尖部根管での器具破折
- (3) 逆根管充填法 ————— 根管側枝由来の根尖病変
- (4) 歯根分離法 ————— 貫通型根分岐部病変
- (5) 歯の再植法 ————— 垂直性歯根破折

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

50 正しい組合せはどれか。

- (1) 偶発的露髄 ————— 失活抜髄法
- (2) 皮下気腫 ————— 腫脹部の切開
- (3) 過剰根管充填 ————— 経過観察
- (4) 根管壁穿孔 ————— 穿孔部の封鎖
- (5) 根管内ファイル破折 ————— バイパス形成

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

51 8歳の女兒。下顎左側第一乳臼歯の齲蝕を主訴として来院した。昨日、下顎左側乳犬歯が自然脱落したという。初診時の口腔内写真(別冊No. 11A)とエックス線写真(別冊No. 11B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a アマルガム修復
- b グラスアイオノマーセメント修復
- c コンポジットレジン修復
- d インレー修復
- e 抜 歯



52 53歳の女性。下顎右側第二小臼歯遠心部の食片圧入を主訴として来院した。51は電気診に反応し、歯周ポケットの深さは3 mm以内である。初診時の口腔内写真(別冊No. 12A、B)とエックス線写真(別冊No. 12C)とを別に示す。

適切な処置はどれか。2つ選べ。

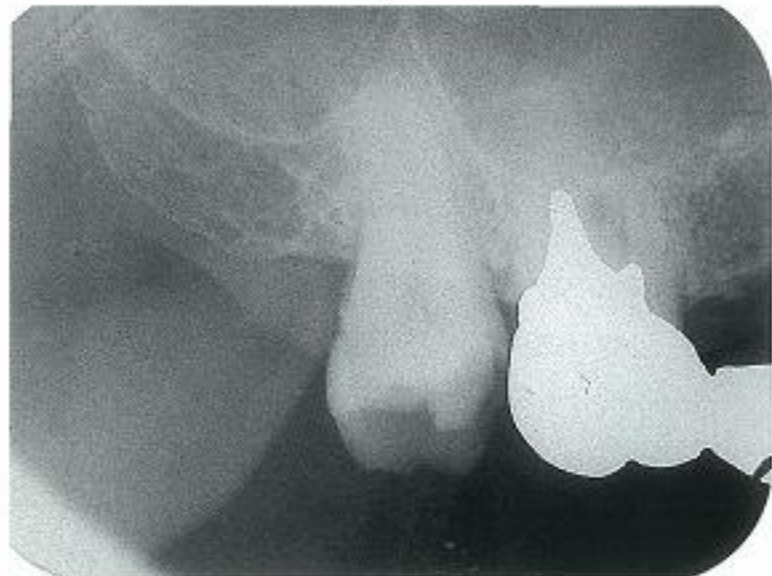
- a 咬合調整
- b 歯冠形態修正
- c グラスアイオノマーセメント修復
- d コンポジットレジン修復
- e メタルインレー修復



53 61歳の男性。上顎右側第二大臼歯のインレー脱離を主訴として来院した。7は電気診に反応し、齶窩の電気抵抗値は80 k Ω である。初診時の口腔内写真(別冊No. 13A)とエックス線写真(別冊No. 13B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a グラスアイオノマーセメント修復
- b コンポジットレジン修復
- c アマルガム修復
- d 直接覆髄法
- e 生活断髄法



54 45歳の女性。下顎前歯の変色を主訴として来院した。20年前に修復処置を受けたが、10年前から変色が始まったという。 $\overline{21|1}$ に冷水痛はなく、電気診に反応する。初診時の口腔内写真(別冊No. 14)を別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 研 磨
- b バイタルブリーチ法
- c ウォーキングブリーチ法
- d コンポジットレジン修復
- e ラミネートベニア修復



55 63歳の男性。下顎左側第二大臼歯部歯肉の腫脹を主訴として来院した。[7]は3年前に治療を受けたという。2週前に歯肉の異常に気付いたが、自発痛はなく、動揺度1度である。歯周ポケットの深さは、頬側近心3mm、中央5mm、遠心7mmである。初診時の口腔内写真(別冊No. 15A)とエックス線写真(別冊No. 15B)とを別に示す。

腫脹の原因と考えられるのはどれか。

- a 穿孔
- b 歯肉炎
- c 歯周炎
- d 慢性根尖性歯周炎
- e 歯内-歯周疾患



56 62歳の男性。上顎右側臼歯の動揺を主訴として来院した。2年前に気付いたが放置していたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 16A)とエックス線写真(別冊No. 16B)とを別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

頬側*	9	6	3	10	8	6	4	4	3
歯種	6			5			4		
口蓋側*	6	4	3	8	6	5	4	4	4
動揺度	2			2			1		

*プロービングデプス(mm)

654の治療計画に含まれるのはどれか。

- (1) ENAP
- (2) 歯根切除法
- (3) 暫間固定
- (4) GTR法
- (5) 歯槽骨切除術

a (1), (2), (3)

b (1), (2), (5)

c (1), (4), (5)

d (2), (3), (4)

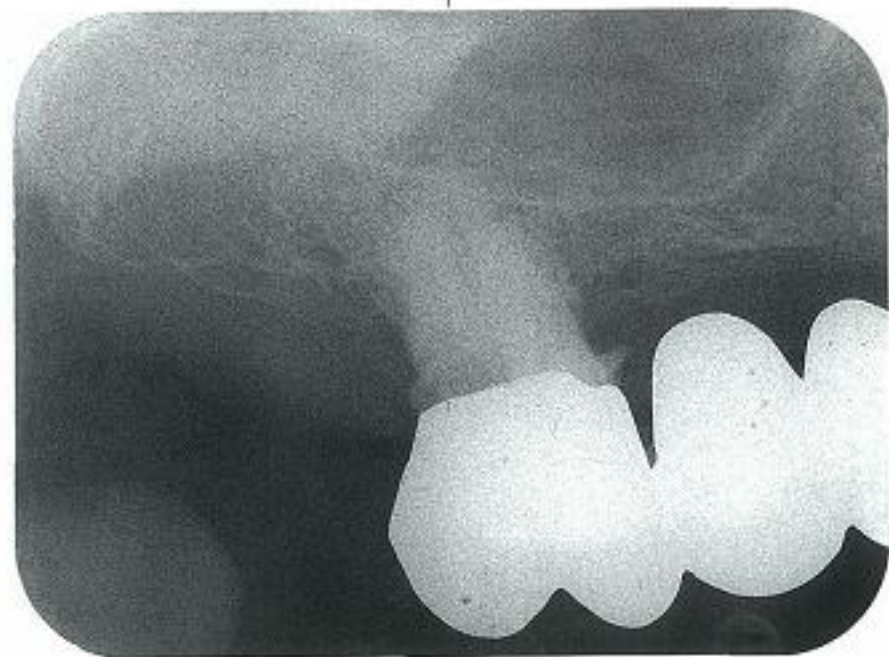
e (3), (4), (5)



57 59歳の男性。上顎右側第二大臼歯の疼痛を主訴として来院した。2日前から冷水痛と自発痛とがあるという。初診時の口腔内写真(別冊No. 17A)とエックス線写真(別冊No. 17B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 生活歯髄切断法
- b 抜髄法
- c 感染根管治療
- d ルートセパレーション
- e 抜 歯



58 60歳の男性。下顎前歯の動揺を主訴として来院した。歯周基本治療後に再評価を行った。再評価時の口腔内写真(別冊No. 18A、B)とエックス線写真(別冊No. 18C)とを別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌側*	2	2	3	2	1	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	4	6	
齒種	3			2			1			1			2			3		
唇側*	2	2	3	2	2	3	3	2	3	3	2	3	3	3	3	4	1	2
動揺度	0			0			0			0			1			2		

*プロービングデプス(mm)

次に行うべき処置はどれか。

- a 歯肉切除術
- b 歯肉弁歯冠側移動術
- c フラップ手術
- d GTR 法
- e 歯の小移動



59 32歳の女性。上顎右側大白歯部の腫脹を主訴として来院した。歯周基本治療後に再評価を行った。6のプロービングデプスは、頬側遠心から5、2、3 mm 及び口蓋側遠心から4、2、2 mm で、遠心部に出血を認める。病的動揺はない。再評価時の口腔内写真(別冊No. 19A)とプローブ挿入時のエックス線写真(別冊No. 19B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a スケーリング
- b 歯肉切除術
- c フラップ手術
- d GTR 法
- e 抜 歯



60 29歳の女性。下顎左側第一大臼歯の疼痛を主訴として来院した。 $\overline{6}$ のプロービングデプスは頬側中央部6 mmで、出血を伴う。他部位は3 mm以内である。病的動揺はない。初診時の口腔内写真(別冊No. 20A)とプローブ挿入時のエックス線写真(別冊No. 20B)とを別に示す。

歯周基本治療後に行う適切な処置はどれか。

- a 新附着術
- b 歯肉切除術
- c ヘミセクション
- d GTR 法
- e 遊離歯肉移植術



61 50歳の女性。下顎右側臼歯部の違和感を主訴として来院した。歯周基本治療後の再評価で、6の歯周ポケットの深さは頬舌側とも中央6 mm、他部位は3 mmである。再評価時の口腔内写真(別冊No. 21A)とエックス線写真(別冊No. 21B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 歯周ポケット搔爬術
- b GTR 法
- c 歯肉弁歯冠側移動術
- d 歯根分離
- e オドントプラスティ―



62 60歳の女性。上顎左側小白歯部の腫脹と疼痛とを主訴として来院した。3日前に腫脹に気付いたという。|5のプローピングデプスは1～2mm、病的動揺はない。ガッタパーチャポイント挿入時の口腔内写真(別冊No. 22A)とエックス線写真(別冊No. 22B)とを別に示す。

考えられる原因はどれか。

- a 付着喪失
- b 歯根破折
- c 外傷性咬合
- d 食片圧入
- e 根尖病変



63 33歳の男性。歯肉の腫脹を主訴として来院した。10年前に腎移植の既往があり、高血圧症の治療を受けているという。歯周ポケットの深さは全顎的に4～6 mmである。初診時の口腔内写真(別冊No. 23A)とエックス線写真(別冊No. 23B)とを別に示す。

上顎前歯部の治療で正しいのはどれか。

- a 歯周ポケット搔爬術
- b ENAP
- c 歯肉切除術
- d フラップ手術
- e 歯肉弁根尖側移動術



*ブローピングデプス(mm)、 $\overline{7|7}$ は欠損

- a モチベーション
- b 咬合調整
- c 固定
- d スケーリング・ルートプレーニング
- e 局所薬物配送システム



65 54歳の女性。上顎左側第一小白歯の疼痛を主訴として来院した。|4は10年前に治療を受けたが、1週間前から咬合痛があるという。歯周ポケットの深さは頬側近心2 mm、中央8 mm、遠心3 mmで、口蓋側は3 mm以内である。打診痛がある。初診時の口腔内写真(別冊No. 25A)とエックス線写真(別冊No. 25B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 感染根管治療
- b 根尖搔爬法
- c 歯根尖切除法
- d 逆根管充填法
- e 抜 歯



66 53歳の男性。上顎右側第一大臼歯のブラッシング時の疼痛を主訴として来院した。1年前に気づき、最近では冷水痛もあるという。自発痛はない。初診時の口腔内写真(別冊No. 26)を別に示す。

適切な処置はどれか。2つ選べ。

- a イオン導入
- b グラスアイオノマーセメント修復
- c ラミネートベニア修復
- d IPC 法
- e 間接覆髄法



67 63歳の男性。上顎左側中切歯の歯冠破折を主訴として来院した。2週前に破折したという。1に自発痛はなく、接触痛がみられる。初診時の口腔内写真(別冊No. 27A)とエックス線写真(別冊No. 27B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 直接覆髄法
- b 生活断髄法
- c 抜髄法
- d 感染根管治療
- e 外科的排膿路の確保



68 19歳の女性。上顎左側中切歯の破折を主訴として来院した。2日前、自転車で転倒したという。Ⅰに自発痛はなく、動揺度1度で、電気診に反応する。初診時の口腔内写真(別冊No. 28A)とエックス線写真(別冊No. 28B)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

- a コンポジットレジン修復
- b 間接覆髄法
- c 直接覆髄法
- d 抜髄法
- e 感染根管治療



69 61歳の男性。上顎右側犬歯の自発痛を主訴として来院した。3]の動揺度は1度である。初診時の口腔内写真(別冊No. 29A)とエックス線写真(別冊No. 29B)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

- a 覆髄法
- b 断髄法
- c 抜髄法
- d 感染根管治療
- e 外科的歯内療法



70 23歳の女性。上顎左側中切歯の根尖相当部の違和感を主訴として来院した。4日前に異常に気付いたという。同部に圧痛がある。初診時の口腔内写真(別冊No. 30A)とエックス線写真(別冊No. 30B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。2つ選べ。

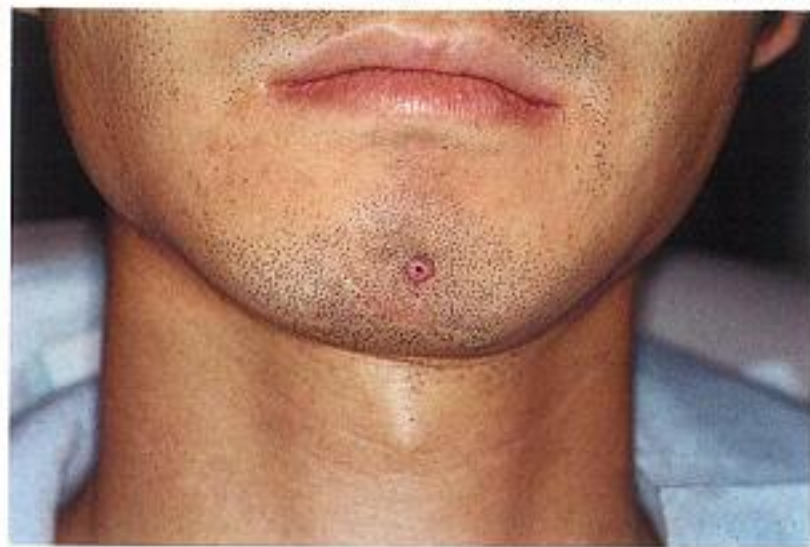
- a 抜髄法
- b 感染根管治療
- c 切開・排膿
- d 歯根尖切除法
- e 逆根管充填法



71 32歳の男性。オトガイ部の異常を主訴として来院した。1か月前に気付いたという。自発痛はない。Ⅰは電気診に反応するがⅡは反応しない。初診時の口腔内写真(別冊No. 31A)、下顔面の写真(別冊No. 31B)およびエックス線写真(別冊No. 31C)を別に示す。

適切な処置はどれか。

- a Ⅰアペキソゲネーシス、Ⅱ経過観察
- b Ⅰ感染根管治療、Ⅱ経過観察
- c Ⅰ感染根管治療、Ⅱ抜髄
- d ⅠⅠ根尖搔爬法
- e ⅠⅠ歯根尖切除法



72 26歳の女性。上顎右側切歯部歯肉の圧痛を訴えて来院した。1は1年前に治療を受けていたが、転居のため中断したという。自発痛はなく、動揺度は1度、歯周ポケットの深さは3 mm以内である。初診時の口腔内写真(別冊No. 32A)とエックス線写真(別冊No. 32B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

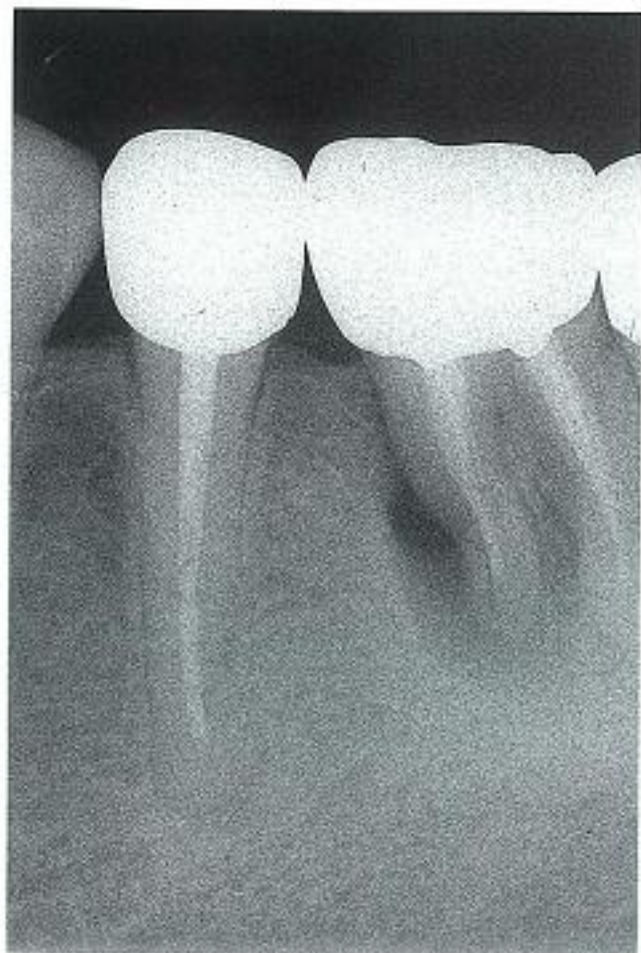
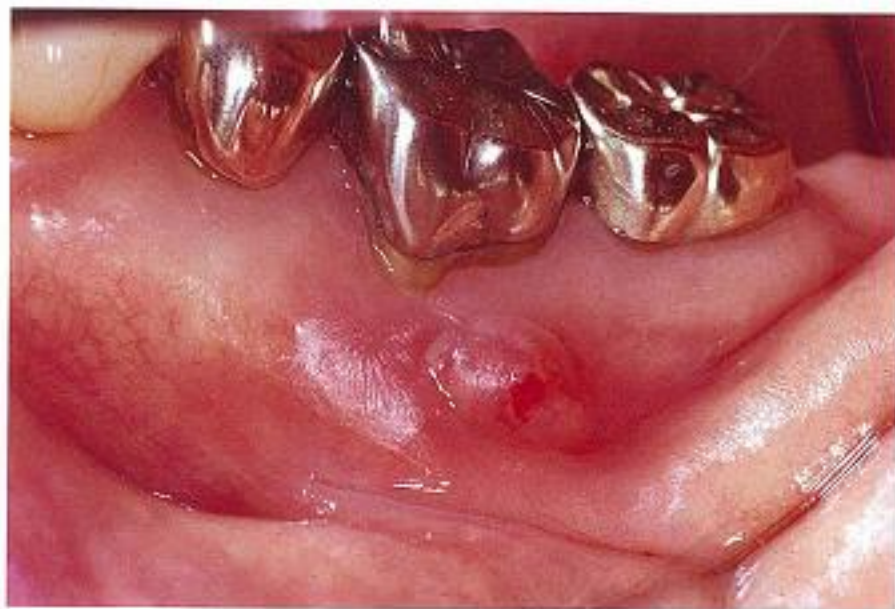
- a 外科的排膿路の確保
- b 感染根管治療
- c 根尖搔爬法
- d 歯根尖切除法
- e 歯内骨内インプラント



73 61歳の女性。下顎左側第一大臼歯の疼痛を主訴として来院した。「6」は7年前に治療を受けたが、2週間前から咬合痛があるという。自発痛はなく、動揺度1度、歯周ポケットの深さは近心頬側7mm、他部位は3mm以内である。初診時の口腔内写真(別冊No. 33A)とエックス線写真(別冊No. 33B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 感染根管治療
- b 歯根分離法
- c 根尖搔爬法
- d 逆根管充填法
- e ヘミセクション



74 64歳の女性。上顎左側犬歯の違和感を主訴として来院した。3週前に歯肉の異常に気付いたという。|3の歯周ポケットの深さは3 mm 以内で、装着補綴物の再製作は希望していない。初診時の口腔内写真(別冊No. 34A)とエックス線写真(別冊No. 34B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 感染根管治療
- b 外科的排膿路の確保
- c 根尖搔爬法
- d 歯根切除法
- e 逆根管充填法



75 48歳の女性。上顎左側第一小白歯の感染根管治療中、突然に顔面の腫脹を生じた。自発痛があり、腫脹部の触診では捻髪音が認められる。そのときの顔貌写真(別冊No. 35A)と初診時のエックス線写真(別冊No. 35B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 根管開放
- b 切開・排膿
- c 抗菌薬投与
- d イオン導入
- e 根尖搔爬法



1 長期間残根状態であった小臼歯を抜去した。

新たに生じる変化はどれか。

- a 咀嚼能率の低下
- b 対合歯の挺出
- c 審美性の不良
- d 隣在歯の移動
- e 歯槽骨の吸収

2 下顎第二小臼歯を鉤歯として使用するのに適している歯冠修復物はどれか。

- (1) 4/5 クラウン
- (2) 全部鑄造冠
- (3) プロキシマルハーフクラウン
- (4) ポーセレンジャケットクラウン
- (5) 陶材焼付鑄造冠

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

3 ブリッジの支台装置に適しているのはどれか。

- (1) 全部鑄造冠
- (2) 陶材焼付鑄造冠
- (3) レジン前装鑄造冠
- (4) ポーセレンジャケットクラウン
- (5) レジンジャケットクラウン

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

4 ブリッジの基本的構成で正しいのはどれか。

- (1) キーアンドキーウェイ
- (2) ポンティック
- (3) 支台装置
- (4) 保隙装置
- (5) 連結子

- a (1)、(2)
- b (1)、(5)
- c (2)、(3)
- d (3)、(4)
- e (4)、(5)

5 分割支台築造に該当するのはどれか。

- a 歯質の削除量が多くなる。
- b ポストの長さが短くなる。
- c スクリューピンと併用できる。
- d ワックスアップが簡便である。
- e 合着時に浮き上がりやすい。

6 歯冠高径が小さい臼歯に対する全部鑄造冠で適切な対応はどれか。

- (1) 支台軸面に縦溝を付与する。
- (2) 支台咬合面を凸型にする。
- (3) 歯肉縁上にマージンを設定する。
- (4) シャンファー型マージンにする。
- (5) 支台咬合面に小窩を形成する。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

7 ポーセレンジャケットクラウンをレジンセメントで合着する際の内面前処理で正しいのはどれか。

- (1) 電解エッチング処理
- (2) サンドブラスト処理
- (3) シランカップリング処理
- (4) グリセリン塗布
- (5) クエン酸処理

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

8 全部床義歯で老人性顔貌を改善するのに必要なのはどれか。

- (1) 咬合高径を回復する。
- (2) 前歯部被蓋を付与する。
- (3) 咬頭傾斜が急な人工歯を排列する。
- (4) ポストダムを付与する。
- (5) 人工歯列弓を拡大する。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

9 構音検査法で正しいのはどれか。

- (1) 単音節復唱検査
- (2) ブローイング検査
- (3) 咬合音検査
- (4) 発語明瞭度検査
- (5) パラトグラム

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

10 全部床義歯で舌を誤咬する原因はどれか。

- (1) 咬合平面の位置が低い。
- (2) 水平的被蓋量が大きい。
- (3) 咬合高径が大きい。
- (4) 頬側床縁が短い。
- (5) 人工歯列弓が狭い。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

11 $\overline{76|67}$ 欠損遊離端義歯にリンガルバーを設計した。

リリーフを必要とする部位はどれか。

- a 頬 棚
- b 下顎隆起
- c 臼後隆起
- d オトガイ隆起
- e オトガイ孔

12 顎堤の被圧変位量で正しいのはどれか。

- a 個人差は小さい。
- b 部位による差は小さい。
- c 加圧量に対して直線的に増加する。
- d 加圧面積に対して直線的に減少する。
- e 粘膜が厚いと大きくなる。

13 高齢者でデンチャープラークが関与するのはどれか。

- (1) 唾液 pH の上昇
- (2) 誤嚥性肺炎
- (3) 口 臭
- (4) 義歯性口内炎
- (5) 支台歯の齲蝕

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

14 部分床義歯の支持力を高めるための正しい組合せはどれか。

- a 歯根膜支持 ——— リンガルバー
- b 歯根膜支持 ——— 延長腕鉤
- c 歯根膜支持 ——— 隣接面板
- d 粘膜支持 ——— オルタードキャスト法
- e 粘膜支持 ——— 解剖学的印象法

15 レスト付2腕鉤の部位と機能との組合せで正しいのはどれか。

- a 鉤腕の先端部 ——— 支 持
- b 鉤腕の肩部 ——— 把 持
- c レスト ——— 維 持
- d 鉤 体 ——— 維 持
- e 鉤 脚 ——— 維 持

16 $\overline{7654}|\overline{4567}$ 欠損両側遊離端義歯で適切でない支台装置はどれか。

- (1) コンビネーションクラスプ
- (2) ハーフアンドハーフクラスプ
- (3) リングクラスプ
- (4) バーアタッチメント
- (5) ローチバークラスプ

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

17 部分床義歯で正しいのはどれか。

- a 支持は義歯に加わる水平的な力に抵抗する。
- b レストと義歯床とは維持のための構成要素である。
- c 支持は義歯を沈下させる咬合力に抵抗する。
- d 大連結子は支持と把持とのための構成要素である。
- e 把持は義歯を離脱させる力に抵抗する。

18 オーバーデンチャーの利点はどれか。

- (1) 義歯が破折しにくい。
- (2) アタッチメントを使用できる。
- (3) 歯根膜感覚を利用できる。
- (4) 支台歯部の顎堤吸収を防止できる。
- (5) 残存歯のアンダーカットを利用できる。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

19 金属床義歯で正しいのはどれか。

- a フィニッシュラインは滑らかに維持格子に移行させる。
- b フィニッシュラインは研磨面と粘膜面とに付与する。
- c ビーディングは粘膜支持を向上させる。
- d ビーディングは床縁やバーの内面に溝状に付与する。
- e ティッシュストップはレジン填入前に除去する。

20 上下的顎間関係の決定法はどれか。

- (1) 安静空隙利用法
- (2) タッピング法
- (3) チェックバイト法
- (4) パントグラフ法
- (5) 顔面計測法

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

21 咬合平面設定の指標でないのはどれか。

- a 下唇
- b 切歯乳頭
- c ハミューラーノッチ
- d 下顎隆起
- e 臼後隆起

22 サベヤーのテーパートゥールの使用目的はどれか。

- a 義歯の着脱方向の決定
- b アンダーカット量の計測
- c カーボンマーカの補強
- d アンダーカット部の修正
- e 等高点の描記

23 アルコン型半調節性咬合器に装着した上下顎全部床義歯の左側方咬合で正しいのはどれか。

- a 左側の顆頭球は前下内方へ滑走する。
- b 左側の Bennett 角が顆頭球を誘導する。
- c 右側では上顎舌側咬頭が咬合する。
- d 右側の咬合調整は BULL の法則で行う。
- e 切歯指導釘は左側へ移動する。

24 無歯顎患者に上下顎全部床義歯を製作する。第一大臼歯の歯槽頂間線が咬合平面に対して 75 度をなしている。

適切なのはどれか。

- (1) リンガライズドオクルージョンを用いる。
- (2) 交叉咬合排列を用いる。
- (3) 咬頭傾斜が急な人工歯を用いる。
- (4) 矢状調節彎曲を強くする。
- (5) Tench の間隙を大きくする。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

25 口腔内から触診できるのはどれか。

- a 側頭筋
- b 咬筋
- c 内側翼突筋
- d 顎二腹筋
- e 胸鎖乳突筋

26 40歳の女性。下顎両側中切歯の変色を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 1A、B)とエックス線写真(別冊No. 1C)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

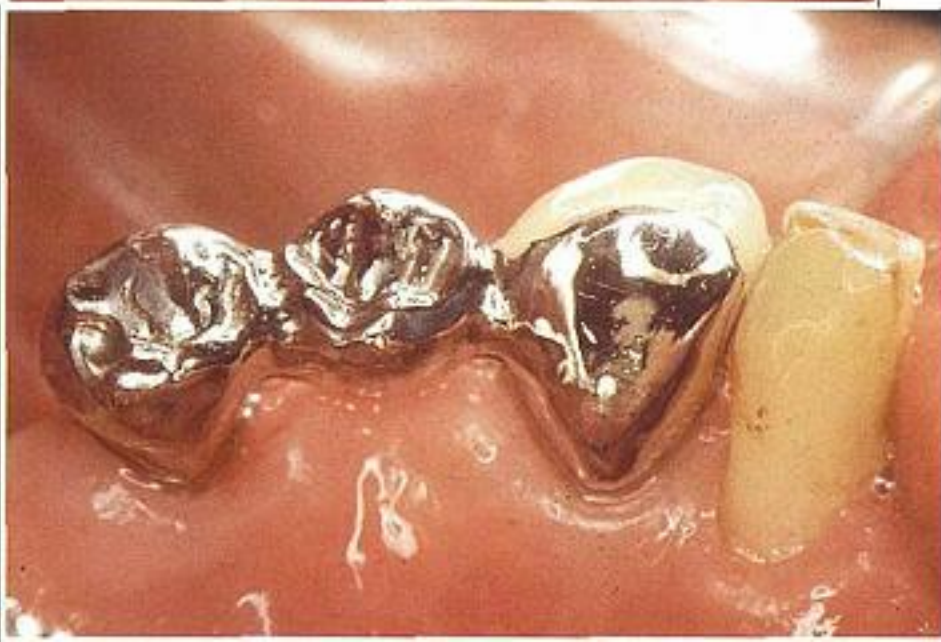
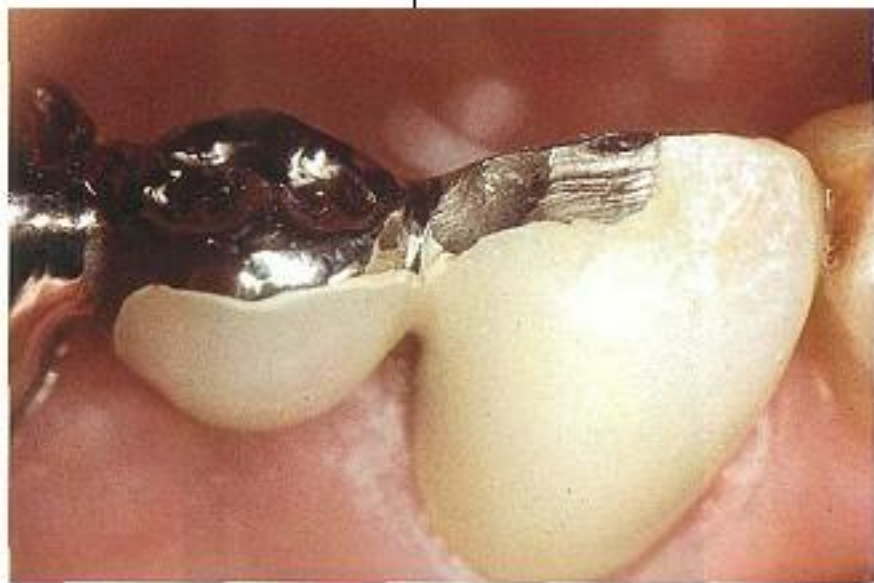
- a レジン前装鑄造冠
- b ウォーキングブリーチ法
- c ポーセレンジャケットクラウン
- d 陶材ラミネートベニア修復
- e 陶材焼付鑄造冠



27 62歳の男性。下顎右側ブリッジの前装レジン破折を主訴として来院した。3年前に装着した。装着時の口腔内写真(別冊No. 2A、B)と初診時の口腔内写真(別冊No. 2C)とを別に示す。

疑われる原因はどれか。2つ選べ。

- a 前装レジンの重合の不良
- b メタルフレームの設計の不良
- c メタルフレームの研磨の不足
- d 前装レジン維持装置の不足
- e ブリッジの支台歯数の不足



28 35歳の女性。歯周治療後に上顎左側中切歯の変色を訴えた。この時点の口腔内写真(別冊No. 3A、B)とエックス線写真(別冊No. 3C)とを別に示す。

適切でない処置はどれか。

- a レジン前装鑄造冠
- b 漂白法
- c ポーセレンジャケットクラウン
- d ①|1②ブリッジ
- e 陶材焼付鑄造冠



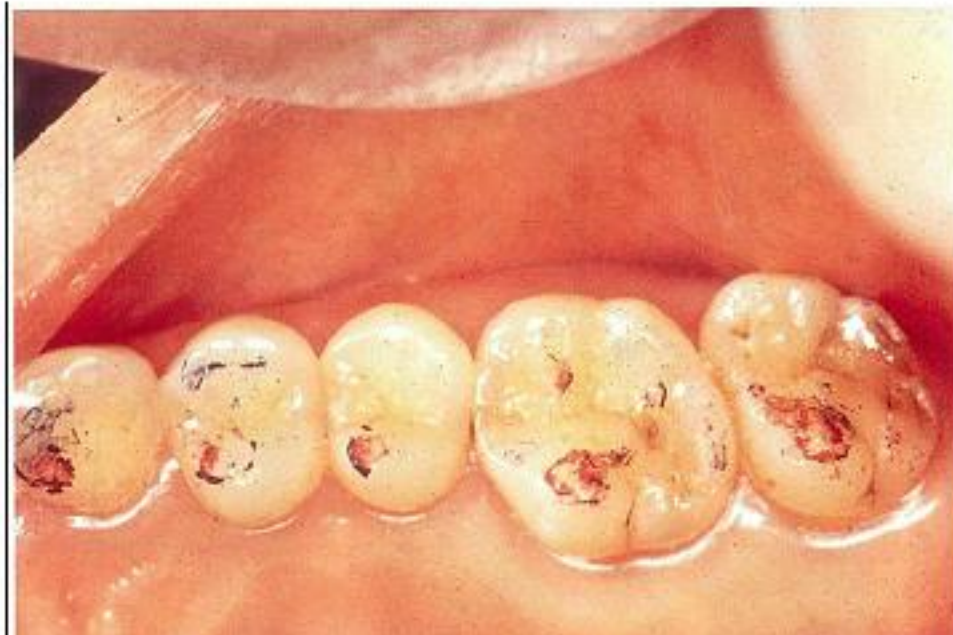
29 23歳の女性。下顎左側第二大臼歯のクラウン試適時に違和感を訴えた。咬合診査時の口腔内写真(別冊No. 4A、B)を別に示す。

調整すべき部位はどれか。2つ選べ。

- a |7の近心舌側咬頭内斜面
- b |7の遠心頬側咬頭内斜面
- c |6の遠心辺縁隆線
- d |7の近心頬側咬頭内斜面
- e |7の近心辺縁隆線



赤マーク：咬頭嵌合位の咬合接触
青マーク：左側方運動時の咬合接触



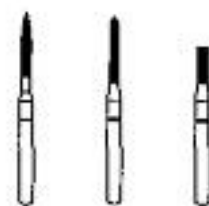
赤マーク：咬頭嵌合位の咬合接触
青マーク：左側方運動時の咬合接触

30 60歳の男性。上顎臼歯部の齲蝕を主訴として来院した。一部被覆冠による修復を行うこととした。支台歯形成終了後の口腔内写真(別冊No. 5A)と作業模型の写真(別冊No. 5B)とを別に示す。

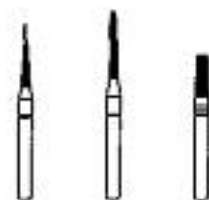
支台歯形成時に使用したダイヤモンドポイントの組合せで適切なのはどれか。



a



b



c



d



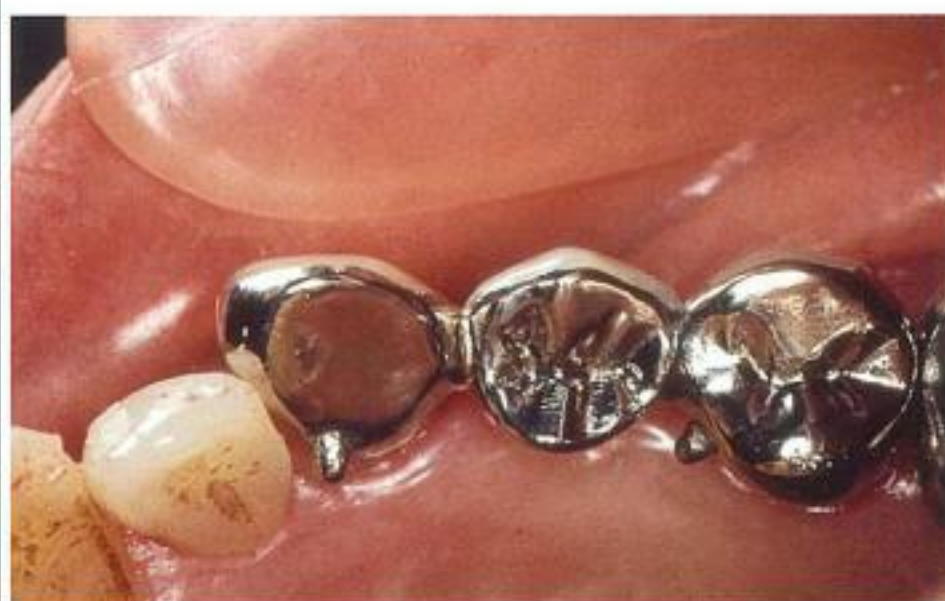
e



31 50歳の女性。上顎欠損部の補綴処置を希望して来院した。ブリッジを製作した。口腔内写真(別冊No. 6A、B、C)を別に示す。

写真で示す段階で用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 圧排糸
- b 咬合紙
- c パラフィンワックス
- d 超音波スケーラー
- e コンタクトゲージ



32 31歳の女性。上顎左側側切歯の補綴処置を希望して来院した。左側中切歯と犬歯とを支台装置とするブリッジを装着することにした。初診時の口腔内写真(別冊No. 7A、B)を別に示す。

ブリッジの設計で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a ポンティック近心隣接面の色調を暗くする。
- b ポンティックの近遠心幅径を2と同じにする。
- c ポンティックを唇側寄りに配置する。
- d 犬歯の近遠心幅径を大きくする。
- e 中切歯の唇面豊隆を強くする。



33 54歳の男性。上顎ブリッジの動揺を主訴として来院した。10年前に装着したという。初診時の口腔内写真(別冊No. 8A)とエックス線写真(別冊No. 8B)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。2つ選べ。

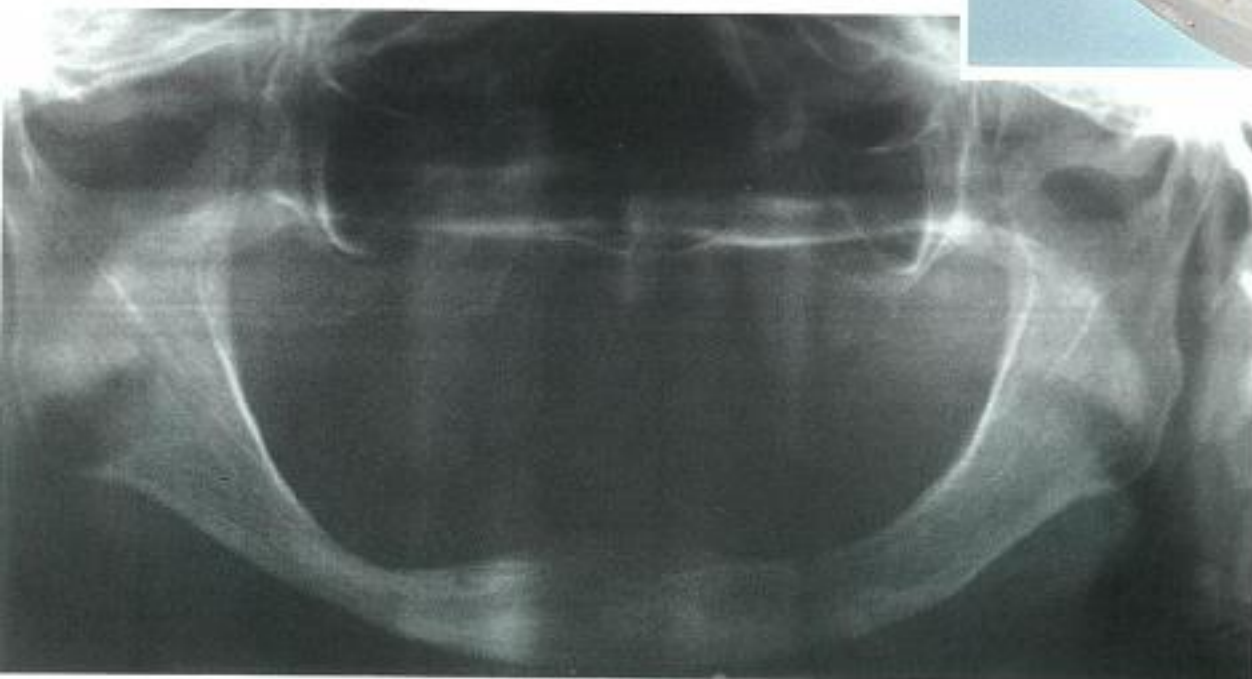
- a ブリッジの撤去
- b 咬合調整
- c ブリッジ4③部の切除
- d 2との連結固定
- e 3の齧蝕治療



34 75歳の男性。咀嚼障害を主訴として来院した。5年前に義歯を装着し、4か月前から咬合時に床下粘膜に疼痛があり、2週前から右側下唇にしびれがあるという。下顎右側小白歯部顎堤に圧痛を認める。初診時の診断用模型(別冊No. 9A)とエックス線写真(別冊No. 9B)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。2つ選べ。

- a 右側咬合接触の除去
- b 床粘膜面のリリース
- c カルバマゼピンの投与
- d 下顎義歯のリライニング
- e 粘膜調整



35 60歳の女性。上顎臼歯部欠損の補綴処置を希望して来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 10A、B)を別に示す。

まず行うべき検査はどれか。

- a 最大開口量測定
- b 顎堤粘膜の被圧変位量測定
- c 概形印象採得
- d 安静空隙量測定
- e 残存歯の動揺度測定



36 78歳の男性。顔貌の改善を希望して来院した。10年前に上下顎全部床義歯を装着したという。初診時の咬合時の顔面写真(別冊No. 11A、B)を別に示す。

まず診査すべきものはどれか。2つ選べ。

- a 習慣性咀嚼
- b 下顎安静位
- c 義歯の床縁
- d 義歯の適合性
- e 上下顎堤の対向関係



37 72歳の女性。義歯床下粘膜部の疼痛を主訴として来院した。義歯は7年前に装着したという。初診時の口腔内写真(別冊No. 12A)と義歯の写真(別冊No. 12B、C)とを別に示す。

疑われる原因はどれか。2つ選べ。

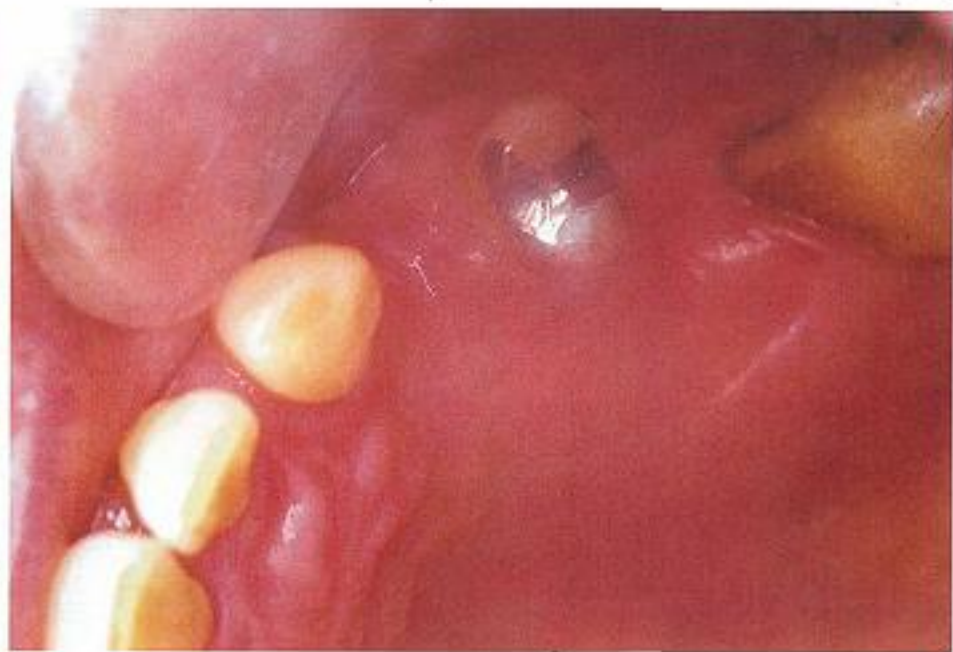
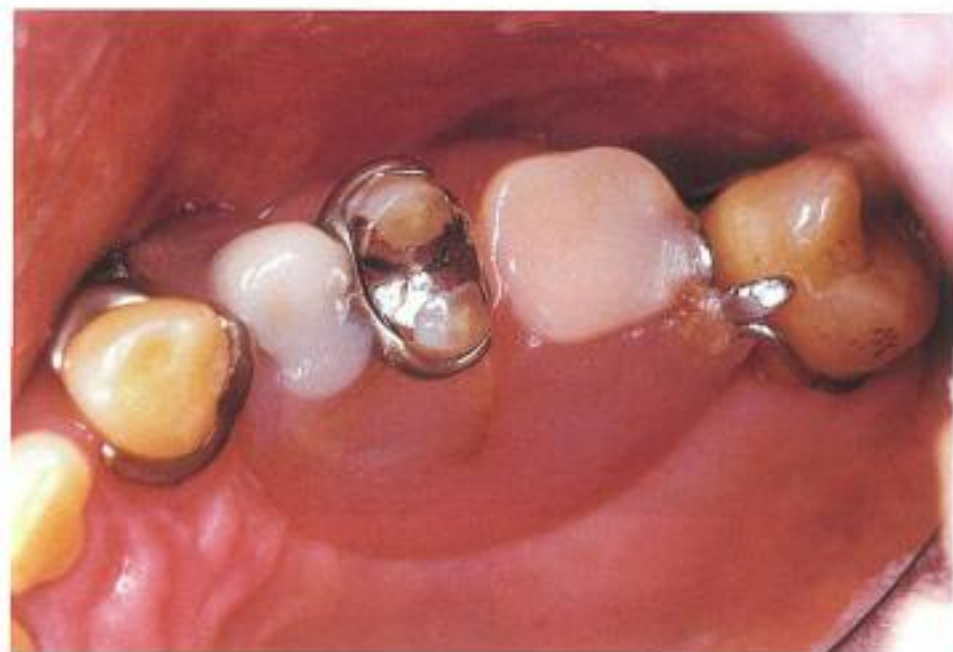
- a レストの不良
- b 義歯清掃の不良
- c 義歯床の形態不良
- d 常温重合レジンの刺激
- e クラスプの破折



38 57歳の男性。咀嚼時の義歯床下粘膜の疼痛を主訴として来院した。10年前に上顎部分床義歯を装着し、2週間前から咬合時に疼痛があるという。初診時の口腔内写真(別冊No. 13A、B)を別に示す。

まず行うべき処置はどれか。2つ選べ。

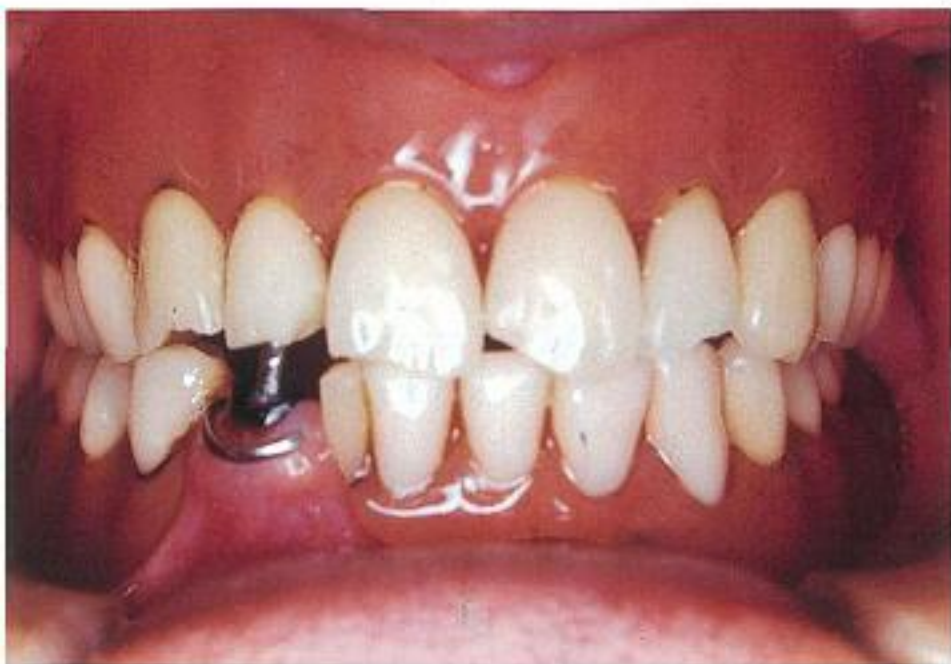
- a 粘膜面のリリース
- b 粘膜調整
- c レストの再製作
- d 義歯床の拡大
- e 人工歯の交換



39 62歳の女性。前装冠の脱離と粘膜の疼痛とを主訴として来院した。咬合時に下顎義歯床下粘膜に圧迫感があるという。咬頭嵌合位の口腔内写真(別冊No. 14A)と診断用模型の写真(別冊No. 14B)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。2つ選べ。

- a オーバージェットを修正する。
- b 粘膜調整を行う。
- c 下顎臼歯を頬側に排列する。
- d 下顎義歯床で臼後隆起を被覆する。
- e 歯根膜支持を回復させる。



40 55歳の女性。義歯の破損を主訴として来院した。義歯は3年前に装着した。装着時の口腔内写真(別冊No. 15A)と破損した義歯の写真(別冊No. 15B、C)とを別に示す。

破損の原因となる要因はどれか。

- a 人工歯の排列位置
- b レジンの重合操作
- c 人工歯維持部の設計
- d レストの配置
- e マイナーコネクターの設計

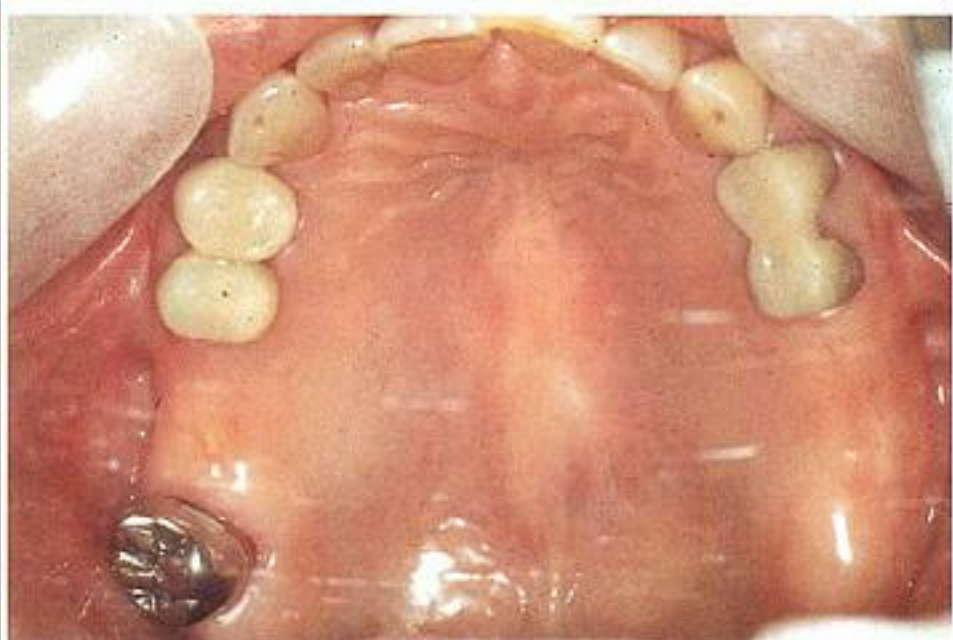


41 52歳の女性。上顎の補綴処置を希望して来院した。初診時の口腔内写真(別冊

No. 16A、B、C)を別に示す。

部分床義歯の大連結子で適切なのはどれか。

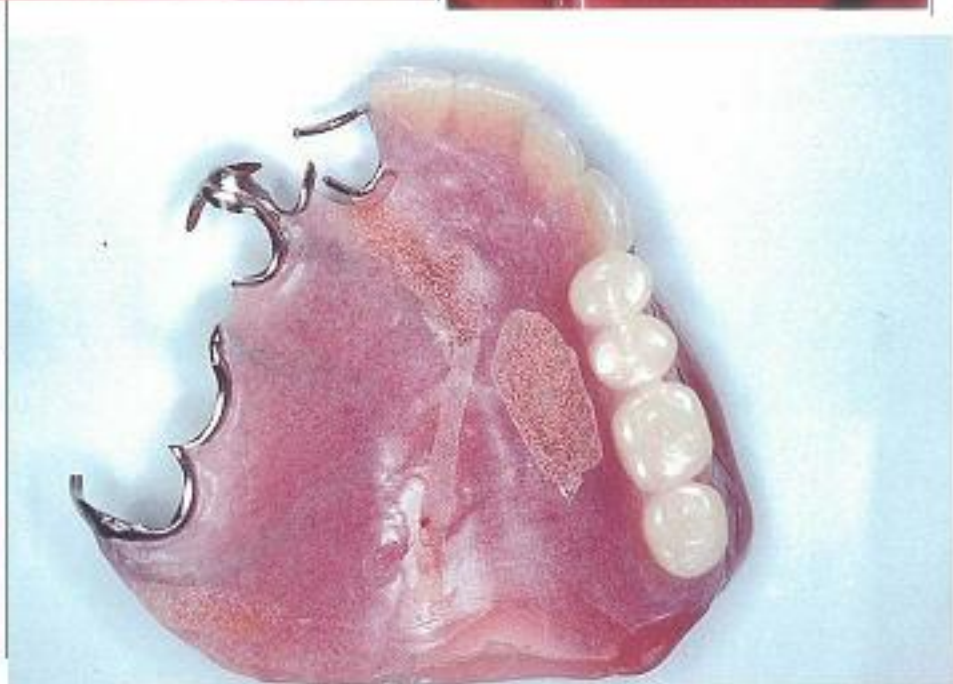
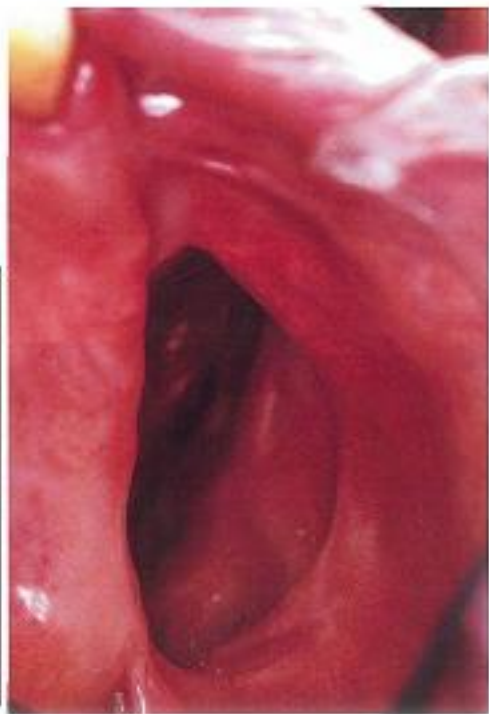
- a 中パラタルバー
- b パラタルストラップ
- c ホースシューバー
- d パラタルプレート
- e ケネディーバー



42 68歳の男性。上顎顎義歯の脱離を主訴として来院した。2年前に装着したが、1週間前から脱離しやすくなったという。口腔内写真(別冊No. 17A、B、C)と顎義歯の写真(別冊No. 17D)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

- a レストの修理
- b クラスプの修理
- c 栓塞子のリライニング
- d 義歯接着材の使用
- e 床研磨面の調整



43 55歳の男性。上顎全部床義歯の製作を希望して来院した。上顎の概形印象の写真(別冊No. 18)を別に示す。

矢印部を形成するための運動はどれか。

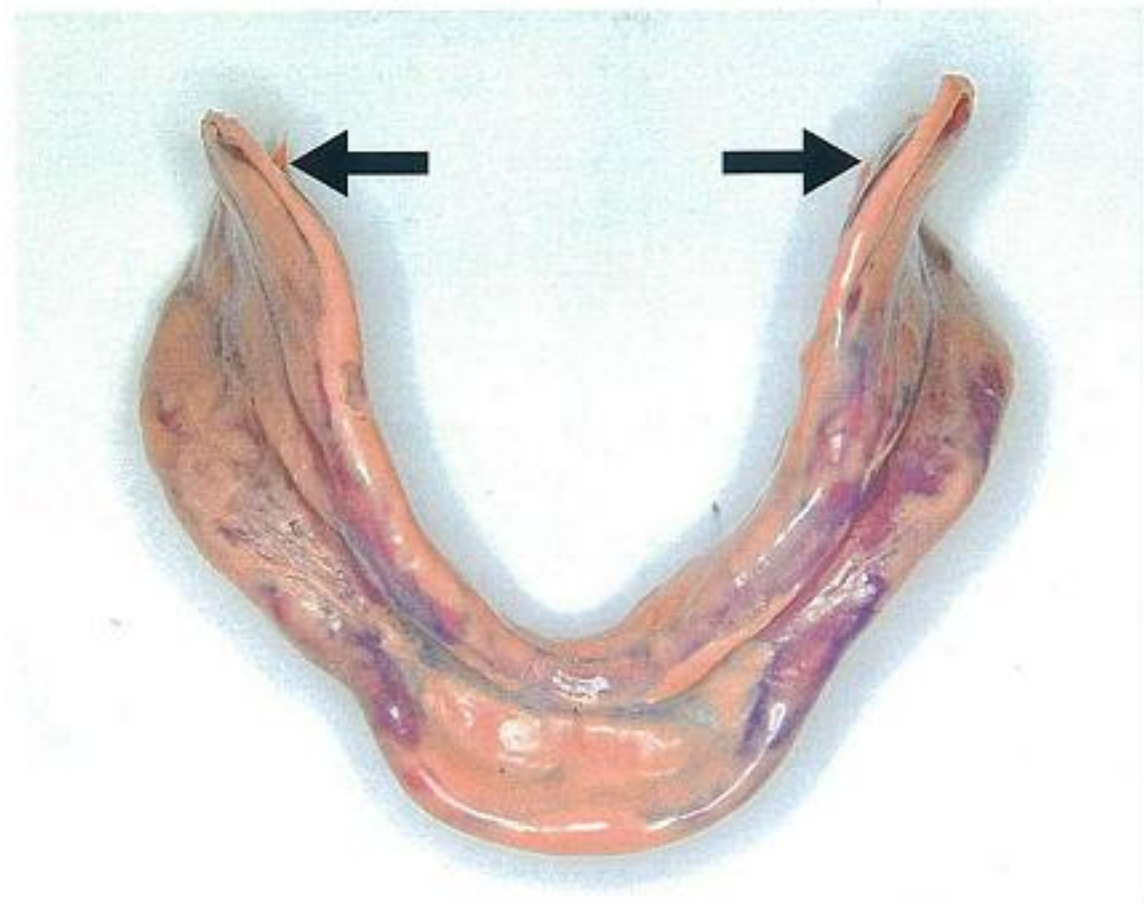
- a 下顎を左右に運動させる。
- b 口唇を突出させる。
- c 口蓋を舌でなめさせる。
- d 頬を吸引させる。
- e 唾液を嚥下させる。



44 78歳の男性。下顎全部床義歯の製作を希望して来院した。個人トレーによる最終印象の写真(別冊No. 19)を別に示す。

矢印部を形成するための運動はどれか。

- a 舌を左右に運動させる。
- b 頬を吸引させる。
- c 唾液を嚥下させる。
- d 口唇を突出させる。
- e 下顎を左右に運動させる。



45 68歳の女性。上下顎全部床義歯の試適時に笑顔の不自然さを訴えている。笑ったときの写真(別冊No. 20)を別に示す。

不自然さの原因となる要因はどれか。

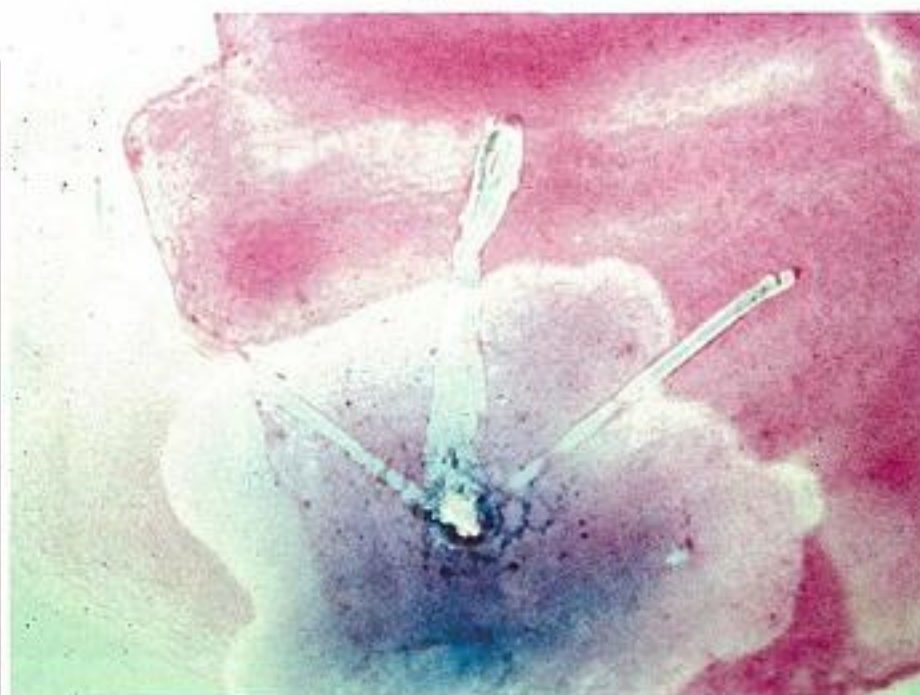
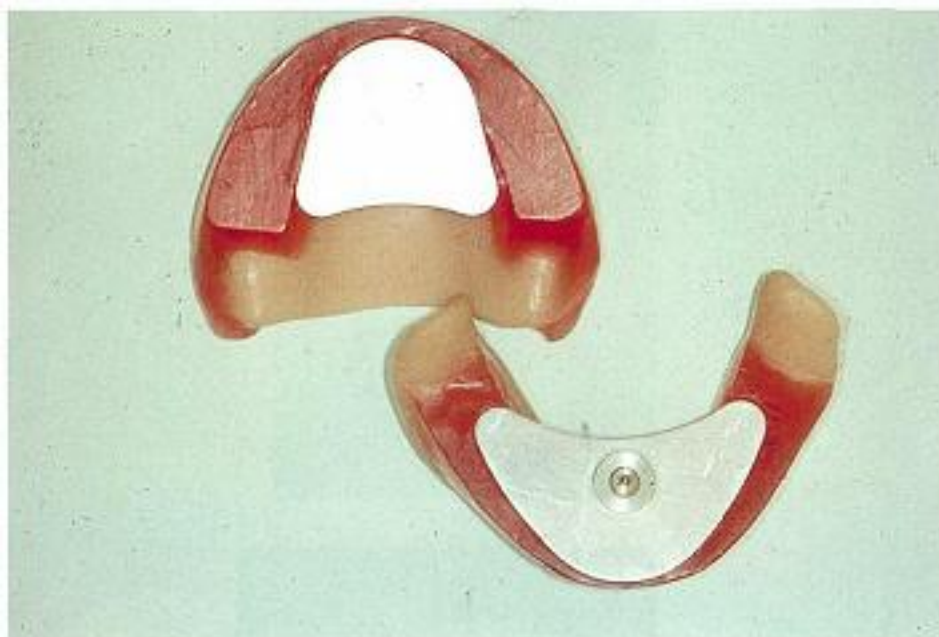
- a 安静空隙量
- b 人工歯の大きさ
- c 咬合平面の上下的位置
- d オーバーバイト
- e 人工歯の形態



46 67歳の女性。上下顎全部床義歯の製作を希望して来院した。検査装置(別冊No. 21A)と描かれた図形(別冊No. 21B)とを別に示す。

図形から疑われるのはどれか。2つ選べ。

- a 左側方運動の障害
- b 左外側翼突筋の障害
- c 左顎関節の障害
- d 低位咬合
- e 不安定な習慣性開閉口運動



前 方

後 方

47 69歳の女性。咀嚼障害を主訴として来院した。上下顎全部床義歯製作のため、咬合採得を行った。上下顎顎間関係を咬合器上に再現した写真(別冊No. 22A、B、C)を別に示す。

人工歯排列で適切なのはどれか。

- a 上顎前歯を歯槽頂上に排列する。
- b オーバージェットを0 mm とする。
- c 咬頭傾斜の緩い人工歯を排列する。
- d 臼歯を交叉咬合排列する。
- e 下顎人工歯を臼後隆起まで排列する。



48 73歳の女性。下顎全部床義歯装着の3日後に床下粘膜の疼痛を主訴として来院した。来院時の口腔内写真(別冊No. 23A)と適合試験の写真(別冊No. 23B)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

- (1) 咬合調整
- (2) 床粘膜面の調整
- (3) 床辺縁の調整
- (4) 粘膜調整
- (5) 床研磨面の調整

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

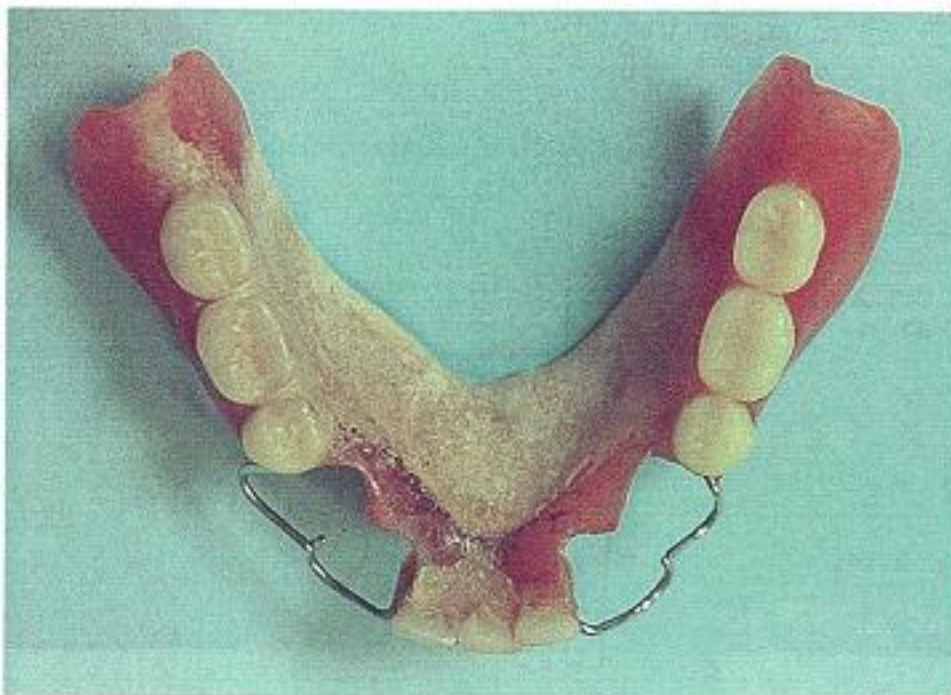
e (3)、(4)、(5)



49 84歳の女性。下顎部分床義歯の舌側研磨面の違和感を主訴として来院した。20年前に装着し、義歯の着脱に問題はないという。初診時の義歯の写真(別冊No. 24 A、B)を別に示す。

この義歯について考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 支台歯が移動している。
- b レストによる支持がある。
- c デンチャープラークコントロールが不十分である。
- d 主咀嚼側は左側である。
- e 隣接面板による把持がある。



50 66歳の男性。義歯装着後5年目のリコールで来院した。咬合接触状態を印記した義歯の写真(別冊No. 25A、B)を別に示す。

この咬合状態が長期間続いた場合に発生すると予測されるのはどれか。2つ選べ。

- a 下顎の後方偏位
- b 義歯性口内炎
- c 義歯性線維症
- d フラピーガム
- e 義歯の破折



赤マーク：側方運動時の咬合接触



青マーク：中心咬合位の咬合接触
赤マーク：側方運動時の咬合接触

51 に入る語句の組合せで正しいのはどれか。

Angle II級2類では、呼吸様式は ① で、下顎 ② 咬合を呈し、上
下顎中切歯歯軸傾斜角は ③ 。

①

②

③

- | | | | |
|---|-----|-----|-----|
| a | 鼻呼吸 | 近 心 | 小さい |
| b | 口呼吸 | 遠 心 | 大きい |
| c | 鼻呼吸 | 遠 心 | 大きい |
| d | 鼻呼吸 | 遠 心 | 小さい |
| e | 口呼吸 | 近 心 | 小さい |

52 舌が関係する不正咬合はどれか。

- (1) 過蓋咬合
- (2) 交叉咬合
- (3) 前歯開咬
- (4) 空隙歯列
- (5) 叢生

- a (1)、(2)
- b (1)、(5)
- c (2)、(3)
- d (3)、(4)
- e (4)、(5)

53 オーバーオールレイシオが基準値と比べて小さい値を示すのはどれか。

- a 上顎正中過剰歯
- b 上顎側切歯が矮小歯
- c 下顎側切歯が先天欠如
- d 下顎第一大臼歯が巨大歯
- e 下顎第三大臼歯が埋伏

54 二態咬合の診断に用いる検査はどれか。

- a 嚥下機能
- b 発音機能
- c 顎運動
- d 咀嚼機能
- e 咬合力

55 乳歯列期の対応で正しいのはどれか。

- a 咬頭干渉は経過観察する。
- b 片側性の臼歯部交叉咬合は経過観察する。
- c 上顎前突にはヘッドギアを使用する。
- d 開咬には口腔習癖除去を行う。
- e 叢生は抜歯による矯正治療を行う。

56 正しい組合せはどれか。

- (1) Crouzon 症候群 ————— 上顎前突
- (2) Pierre Robin 症候群 ————— 下顎前突
- (3) Treacher-Collins 症候群 ————— 小下顎症
- (4) Down 症候群 ————— 高口蓋
- (5) 鰓弓症候群 ————— 下顎前突

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

- 57 頭蓋冠縫合部の成長に異常をきたすのはどれか。
- a Treacher-Collins 症候群
 - b Goldenhar 症候群
 - c Pierre Robin 症候群
 - d Crouzon 症候群
 - e Turner 症候群

58 患者による口腔清掃が容易な矯正装置はどれか。

- (1) パイオネーター
- (2) 咬合斜面板
- (3) クワドヘリックス
- (4) 舌側弧線装置
- (5) トゥースポジショナー

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

59 歯に適切な矯正力が作用した場合、正しい組合せはどれか。

- (1) 圧迫側歯槽骨 ————— 骨吸収
- (2) 牽引側歯槽骨 ————— 骨添加
- (3) 牽引側歯根膜 ————— 硝子様変性
- (4) 歯 髄 ————— 硝子様変性
- (5) 象牙質 ————— 吸 収

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

60 上下顎骨の前後的位置関係の改善を目的とする矯正装置はどれか。

- (1) アクチバトール
- (2) リップバンパー
- (3) クワドヘリックス
- (4) トゥースポジショナー
- (5) チンキャップ

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

61 下顎の前方誘導で小さくなるのはどれか。

- a 下顎角
- b 下顎中切歯傾斜角
- c 顔面角
- d 下顎下縁平面角
- e Y 軸角

62 開咬を伴う骨格性上顎前突症のセファロ分析で小さい値を示すのはどれか。

- a 下顔面高
- b 下顎下縁平面角
- c 顔面角
- d ANB 角
- e Y 軸角

63 混合歯列期の過蓋咬合を伴う上顎前突の治療で適用される装置はどれか。

- (1) リンガルアーチ
- (2) トランスパラタルアーチ
- (3) タングクリブ
- (4) バイオネーター
- (5) ヘッドギア

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

64 アクチバートルによる治療が有効な混合歯列期の不正咬合はどれか。

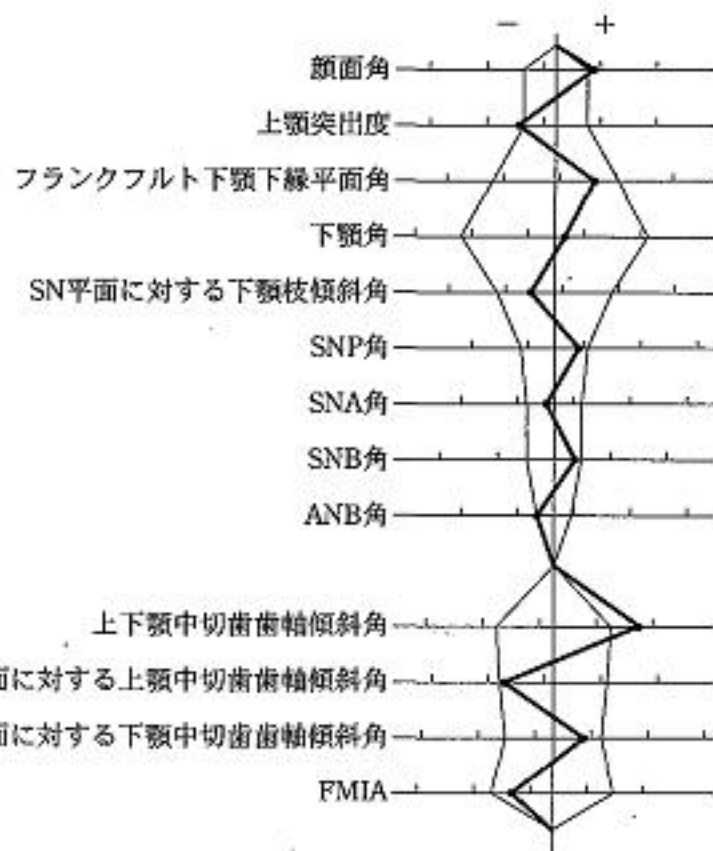
- (1) 前歯部に叢生がある歯槽性不正咬合
- (2) 口唇の閉鎖困難な骨格性開咬
- (3) 口呼吸が原因の下顎遠心咬合
- (4) 過蓋咬合を伴う下顎遠心咬合
- (5) 下顎の後退が可能な反対咬合

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

65 歯列弓拡大後の保定に適用する装置はどれか。

- a Nance のホールディングアーチ
- b リンガルアーチ
- c 咬合挙上板
- d 咬合斜面板
- e アクチバトール

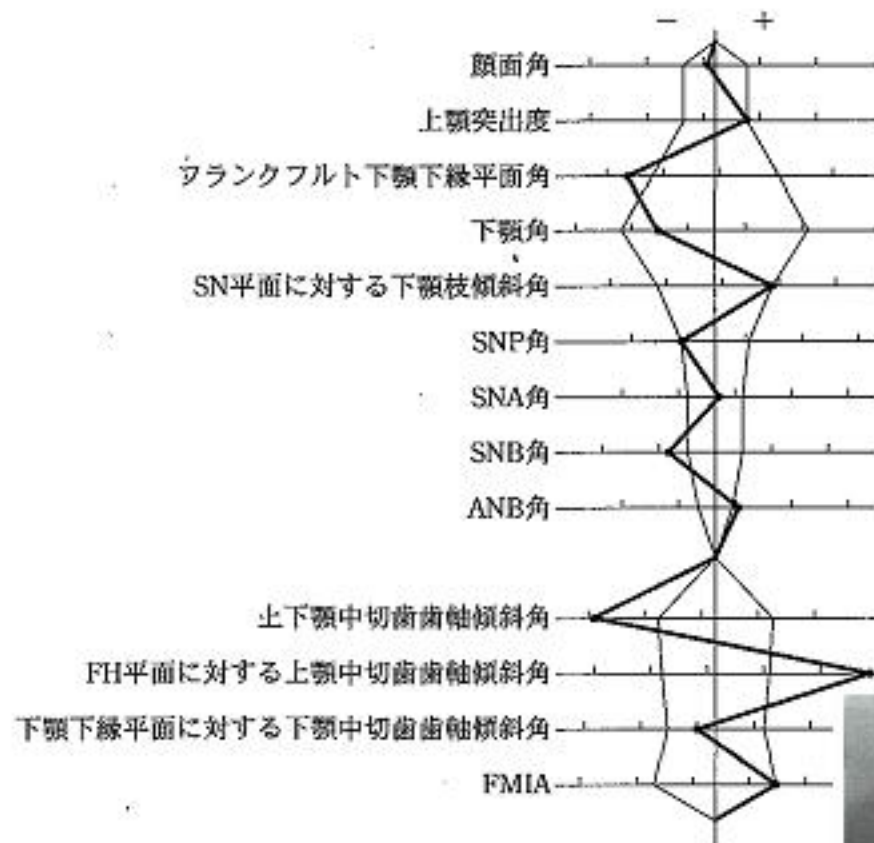
66 10歳の女兒。前歯部反対咬合を主訴として来院した。初診時の咬頭嵌合位の口腔内写真(別冊No. 26A、B、C)と構成咬合位の口腔内写真(別冊No. 26D)とを別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



矯正装置と治療効果との組合せで正しいのはどれか。

- a 上顎前方牽引装置 ——— ANB 角の増加
- b オトガイ帽装置 ——— SNB 角の減少
- c アクチバツール ——— 上顎中切歯歯軸傾斜角の減少
- d 舌側弧線装置 ——— 上顎中切歯歯軸傾斜角の増加
- e 咬合斜面板 ——— 下顎中切歯歯軸傾斜角の増加

67 8歳の女児。前歯の歯列不正を主訴として来院した。初診時の顔面写真(別冊No. 27A、B)、口腔内写真(別冊No. 27C)およびパノラマエックス線写真(別冊No. 27D)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



治療方針で適切でないのはどれか。

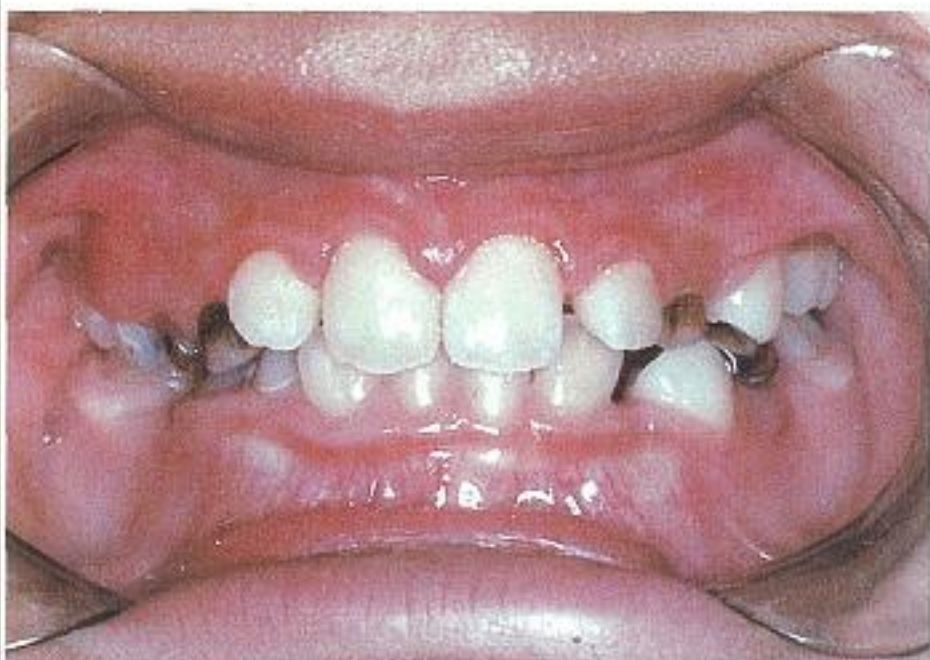
- a 過剰歯の抜去
- b 犬歯部の開窓・牽引
- c 咬合の挙上
- d 上顎の前方成長抑制
- e 下顎の前方成長促進



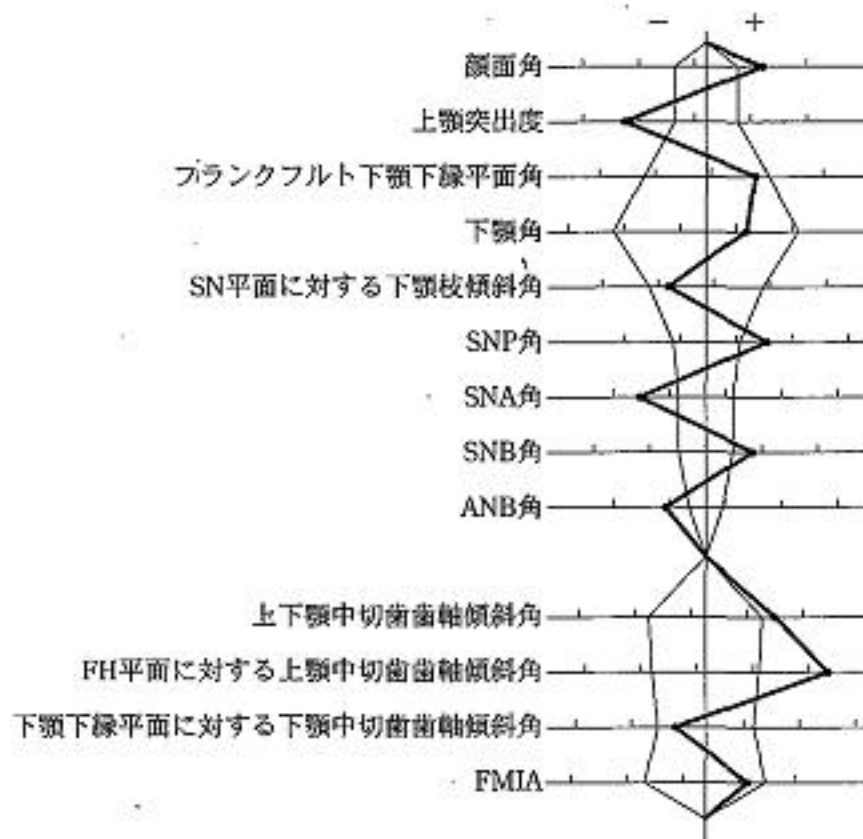
68 9歳の男児。前歯部の咬合状態を気にして来院した。セファロ分析の結果、SNA角、SNB角に異常はなく、下顎下縁平面に対する下顎中切歯歯軸傾斜角は正常範囲内にあった。治療前後の口腔内写真(別冊No. 28A、B)を別に示す。

使用した矯正装置はどれか。

- a リップバンパー
- b 舌側弧線装置
- c アクチバトール
- d マルチブラケット装置
- e オトガイ帽装置



69 8歳の男児。反対咬合を主訴として来院した。切端咬合はとれず軽度の発音障害がある。初診時の口腔内写真(別冊No. 29A、B、C)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



治療方針で適切なのはどれか。

- a 咬合斜面板による咬合挙上
- b 切歯斜面板による上顎前歯の唇側傾斜
- c リップバンパーによる上顎白歯の頬側移動
- d 上顎前方牽引装置による上顎骨の前方成長誘導
- e アクチバトールによる下顎前歯の舌側傾斜



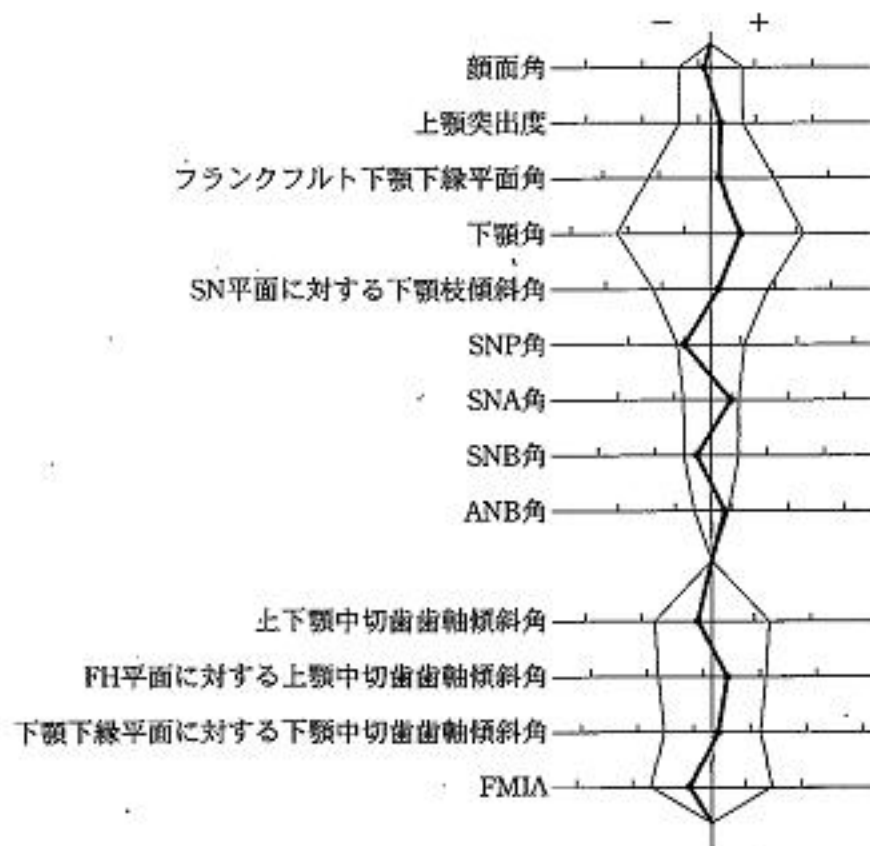
70 14歳の男子。9歳時に反対咬合を主訴として来院した。9～14歳の口腔内写真
(別冊No. 30A、B、C、D、E)を治療経過順に別に示す。

治療による変化で誤っているのはどれか。2つ選べ。

- a 下顎前歯が舌側傾斜した。
- b 下顎大白歯が遠心方向に直立した。
- c 上顎前歯が唇側傾斜した。
- d 上顎大白歯が圧下した。
- e 下顎大白歯が近心移動した。



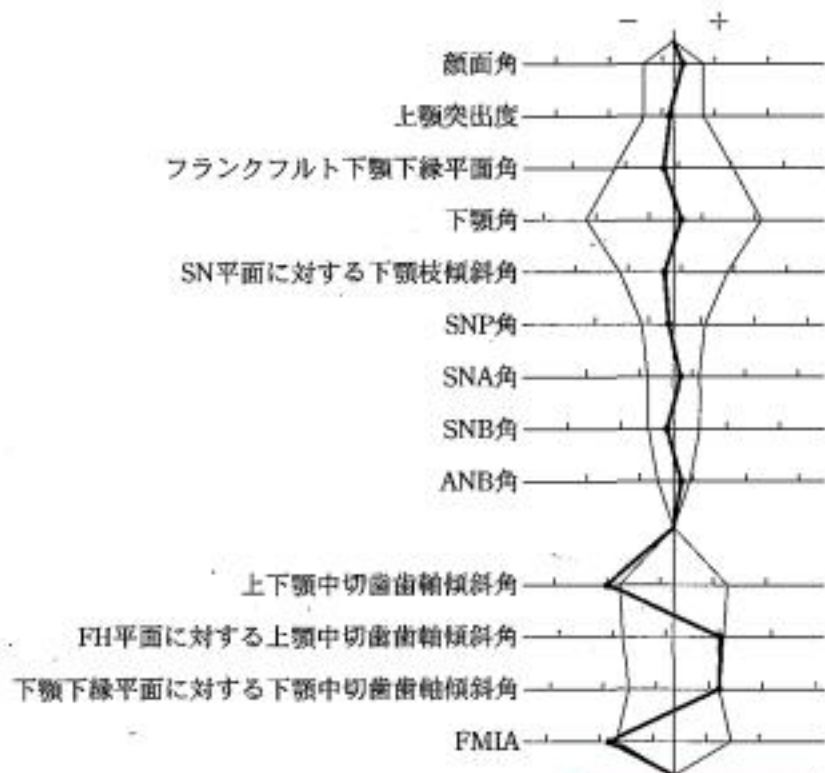
71 19歳の女性。前歯の歯列不正を主訴として来院した。アーチリングスディスクレパンシーは上下顎とも -8.0 mm である。初診時の口腔内写真(別冊No. 31A、B、C、D)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



治療方針で適切なものはどれか。

- a 上顎の成長抑制
- b 下顎の前方成長誘導
- c 上顎骨の拡大
- d 抜歯による矯正治療
- e Le Fort I 型骨切り術

72 18歳の女子。前歯部叢生を主訴として来院した。咬合関係はAngle I級、アーチレングスディスクレパンシーは上顎-6.0mm、下顎-8.0mmである。初診時の顔面写真(別冊No. 32A)と口腔内写真(別冊No. 32B、C、D)とを別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。

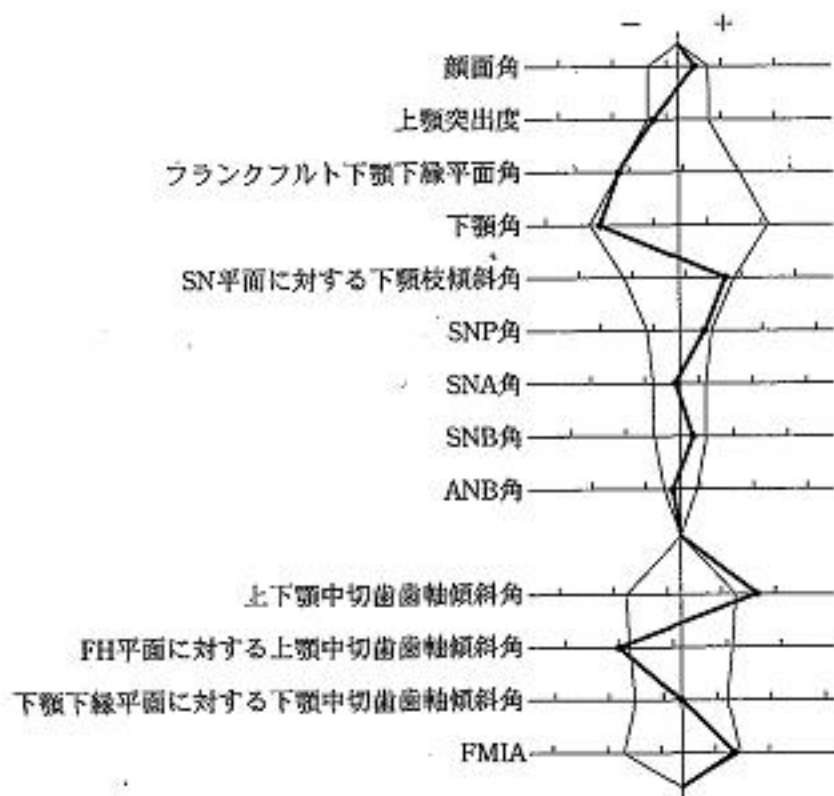


治療方針で適切なのはどれか。

- a $\frac{5}{5}|\frac{5}{5}$ を抜歯後、最小の固定を用いる。
- b $\frac{4}{4}|\frac{4}{4}$ を抜歯後、最大の固定を用いる。
- c $\frac{4}{5}|\frac{4}{5}$ を抜歯後、相反固定を用いる。
- d 非抜歯で上下顎歯列の側方拡大を行う。
- e 非抜歯で上下顎歯列の遠心移動を行う。



73 14歳の女子。噛み合わせの異常を主訴として来院した。咬合時の機能的顎偏位はみられない。初診時の顔面写真(別冊No. 33A)と口腔内写真(別冊No. 33B、C、D、E、F)とを別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



治療方針で適切なのはどれか。

- (1) 舌側弓線装置による大白歯咬合関係の改善
- (2) ヘッドギアによる上顎大白歯の遠心移動
- (3) バイオネーターによる下顎の成長方向の改善
- (4) 拡大装置による臼歯部交叉咬合の改善
- (5) マルチブラケット装置による歯の排列



a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

74 15歳の女子。顔のゆがみを主訴として来院した。咬合時に下顎が右方に誘導される。セファロ分析の結果、角度計測値はすべて1 S.D.内であった。初診時の顔面写真(別冊No. 34A)と口腔内写真(別冊No. 34B、C、D)とを別に示す。

治療方針で適切なのはどれか。

- a 外科的矯正治療
- b 筋機能訓練後、マルチブラケット装置による治療
- c 上顎急速拡大後、マルチブラケット装置による治療
- d チンキャップ治療後、マルチブラケット装置による治療
- e 小白歯抜去後、マルチブラケット装置による治療



75 17歳の男子。唇顎口蓋裂による歯列不正の治療を行った。治療経過の口腔内写

真(別冊No. 35A、B、C、D、E)を年齢順に別に示す。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 5歳時にネジ付拡大装置で歯列弓を拡大した。
- b 8歳時に舌側弧線装置の単式弾線で前歯を唇側移動した。
- c 11歳時に Coffin の拡大装置で歯列弓を拡大した。
- d 14歳時にマルチブラケット装置で個々の歯を排列した。
- e 17歳時に動的治療を終了し咬合斜面板で保定を開始した。



11歳時



5歳時



14歳時



8歳時



17歳時

1 鼻咽腔閉鎖機能不全の患者に用いる装置はどれか。

- (1) Hotz 床
- (2) スピーチエイド
- (3) 軟口蓋挙上装置
- (4) クワドヘリックス
- (5) スプリント

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

2 口腔粘膜および皮膚に色素沈着がみられ、顔面骨にび慢性エックス線不透過像を認めた。

疑われる疾患はどれか。

- a Gardner 症候群
- b Sturge-Weber 症候群
- c Peutz-Jeghers 症候群
- d von Recklinghausen 病
- e Albright 症候群

3 9歳の男児。友達とぶつかり上顎左側中切歯が完全脱落した。

正しいのはどれか。

- (1) 脱落歯を牛乳に漬けて来院させる。
- (2) 来院後、直ちに脱落歯を消毒液に漬ける。
- (3) 再植直前に抜髄と根管充填とを行う。
- (4) 再植後に歯根吸収はみられない。
- (5) 再植時、対合歯との接触は避ける。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

- 4 左側下顎角部骨折の場合、小骨片である下顎枝が偏位する方向はどれか。
- a 前内上方
 - b 前内下方
 - c 前外上方
 - d 後内下方
 - e 後外上方

5 パノラマエックス線写真で下顎埋伏智歯と下顎管とが重なって観察された。

両者の位置関係を知るために最も有用なのはどれか。

- a Waters 撮影法
- b 咬合法
- c 超音波検査
- d CT
- e 顎骨斜位撮影法

6 56歳の男性。5年前に心臓の弁置換術を受けたという。下顎第一大臼歯抜去と嚢胞摘出とを行う予定である。

術前に投与するのはどれか。

- a アモキシシリン
- b ワルファリンカリウム
- c シアン化カリウム
- d アスピリン
- e 副腎皮質ステロイド薬

7 正しいのはどれか。

- (1) 酸性非ステロイド薬はアスピリン喘息患者に禁忌である。
- (2) 酸性非ステロイド薬はプロスタグランジンの合成を抑制する。
- (3) 酸性非ステロイド薬は消化性潰瘍を生じやすい。
- (4) 塩基性非ステロイド薬は抗リウマチ作用がある。
- (5) 副腎皮質ステロイド薬は骨形成作用がある。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

8 根治的頸部郭清術で切除すべき組織はどれか。

- a 内頸静脈
- b 内頸動脈
- c 僧帽筋
- d 舌咽神経
- e 迷走神経

9 前癌病変はどれか。

- (1) 色素性乾皮症
- (2) 梅毒性舌炎
- (3) 白板症
- (4) 紅板症
- (5) 扁平苔癬

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

10 広範なび慢性エックス線不透過像を示すのはどれか。

- a エナメル上皮腫
- b 歯牙腫
- c 歯源性線維腫
- d 線維性骨異形成症
- e 歯源性粘液腫

11 上顎癌の動脈内注入化学療法で、カテーテル先端の適切な位置はどれか。

- a 上甲状腺動脈分岐部
- b 後耳介動脈分岐部
- c 舌動脈分岐部
- d 顔面動脈分岐部
- e 顎動脈分岐部

12 放射線療法の晩期障害はどれか。

- (1) 皮膚炎
- (2) 口腔粘膜炎
- (3) 齶 蝕
- (4) 顎骨骨髓炎
- (5) 白内障

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

13 60歳の女性。舌尖部のヒリヒリする痛みを主訴として来院した。舌は平滑で、末梢血液像は大球性高色素性貧血を示し、骨髓穿刺で巨赤芽球が認められる。

適切なのはどれか。

- a ATP 製剤の経口投与
- b 鉄剤の経口投与
- c 抗真菌薬の経口投与
- d 塩化カリウムの静脈内注射
- e ビタミン B₁₂ 製剤の筋肉内注射

14 5歳の男児。歯肉出血を主訴として来院した。出血時間とプロトロンビン時間とは正常であったが、活性化部分トロンボプラスチン時間は延長していた。

活性低下が疑われるのはどれか。

- (1) 第V因子
- (2) 第Ⅶ因子
- (3) 第Ⅷ因子
- (4) 第Ⅸ因子
- (5) 第Ⅹ因子

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

15 ワルファリンカリウムを内服中の患者である。

考えられる疾患はどれか。

- (1) 心筋梗塞
- (2) 気管支喘息
- (3) 糖尿病
- (4) 脳梗塞
- (5) 心臓弁膜症

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

16 神経原性ショックの症状はどれか。

- a 頻 脈
- b 小 脈
- c 顔面紅潮
- d 呼吸促迫
- e 四肢強直

17 全身麻酔の術前・術中の管理で正しいのはどれか。

- (1) 術前に抗不安薬を投与する。
- (2) 喫煙者では術前に禁煙を指導する。
- (3) 糖尿病患者では術中血糖値を 90 mg/dl 以下に保つ。
- (4) 成人では手術 2 時間前まで飲食が許される。
- (5) 喘息患者では前投薬にバルビツレートは用いない。

- a (1)、(2)、(3)
- b (1)、(2)、(5)
- c (1)、(4)、(5)
- d (2)、(3)、(4)
- e (3)、(4)、(5)

18 ガマ腫の進展範囲の評価に有用なのはどれか。

- a 咬合法撮影
- b パノラマエックス線撮影
- c エックス線断層撮影
- d CT
- e シンチグラフィ

19 56歳の男性。右側耳下腺部腫瘍を主訴として来院した。6年前に気付いたという。腫瘍は右側耳下腺に局限した半球状で、CTでは境界明瞭な25×22 mm大で内部均一である。唾液腺シンチグラフィでは異常集積がみられる。

疑われる疾患はどれか。

- a 腺様嚢胞癌
- b 多形性腺腫
- c 粘表皮癌
- d Warthin 腫瘍
- e 悪性リンパ腫

20 50歳の女性。口腔の乾燥感と両側耳下腺の無痛性腫脹とを主訴として来院した。耳下腺造影では点状陰影を示した。

さらに診断に必要な検査はどれか。

- (1) 血中抗体検査
- (2) Schirmer テスト
- (3) 口唇腺の生検
- (4) 細胞診
- (5) 眼底検査

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

21 耳下腺腫瘍摘出手術後、麻痺性兔眼を発症した。

損傷したと考えられる顔面神経の枝はどれか。

- a 前額枝
- b 頬骨枝
- c 頬筋枝
- d 下顎縁枝
- e 頸 枝

22 尋常性天疱瘡で見られるのはどれか。

- (1) 結節性紅斑
- (2) Nikolsky 現象
- (3) 上皮内水疱形成
- (4) 血中自己抗体
- (5) 口腔粘膜のレース状白斑

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| a (1)、(2)、(3) | b (1)、(2)、(5) | c (1)、(4)、(5) |
| d (2)、(3)、(4) | e (3)、(4)、(5) | |

23 ウイルスと疾患との組合せで正しいのはどれか。

- a 単純ヘルペスウイルス ———— 上咽頭癌
- b コクサッキーウイルス ———— 乳頭腫
- c ムンプスウイルス ———— カポジ肉腫
- d EB ウイルス ———— 伝染性単核症
- e パピローマウイルス ———— 手足口病

24 73歳の女性。1週間前から抗菌薬の投与を受け、口腔内に剝離可能な白苔が出現するようになった。

口腔病変に有用な治療薬はどれか。

- a 塩酸バンコマイシン
- b アシクロビル
- c ミコナゾール
- d シクロスポリン
- e 塩化リゾチーム

25 Hunt 症候群の症状はどれか。

- (1) 患側前額のしわ寄せ不能
- (2) 患側の麻痺性兔眼
- (3) 感音障害
- (4) 上唇の患側偏位
- (5) 患側顔面皮膚の知覚低下

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

26 2か月の乳児。上顎歯槽部の異常を主訴として来院した。出生直後に母親が異常に気付いたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 1)を別に示す。

適切な対応はどれか。

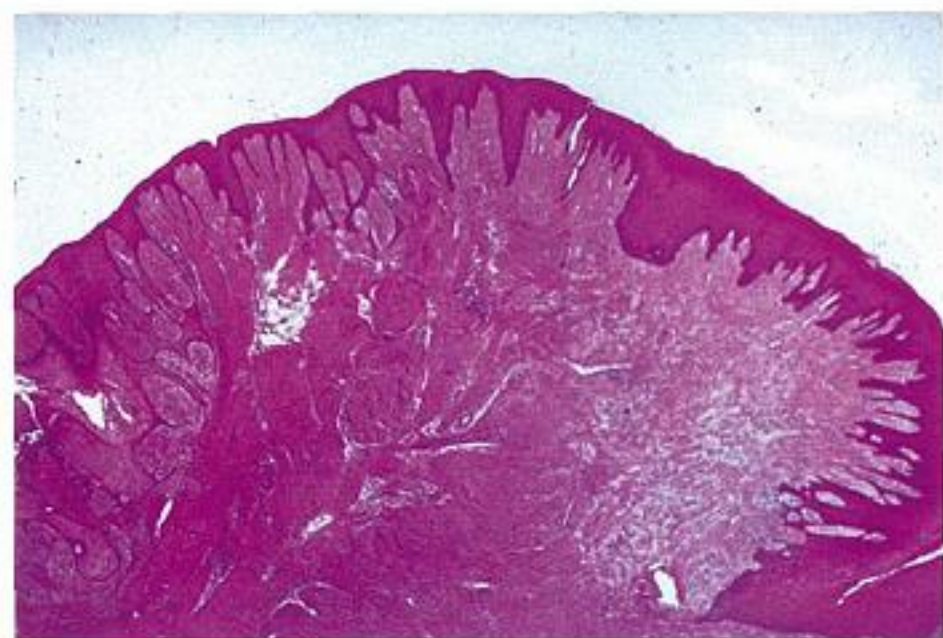
- a 経過観察
- b 副腎皮質ステロイド軟膏塗布
- c 抗菌薬投与
- d 切開・排膿
- e 摘出



27 16歳の男子。歯肉の腫脹を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 2A)と生検時の病理組織像(別冊No. 2B)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 辺縁性歯周炎
- b 外骨症
- c エプーリス
- d 歯肉線維腫症
- e 悪性リンパ腫

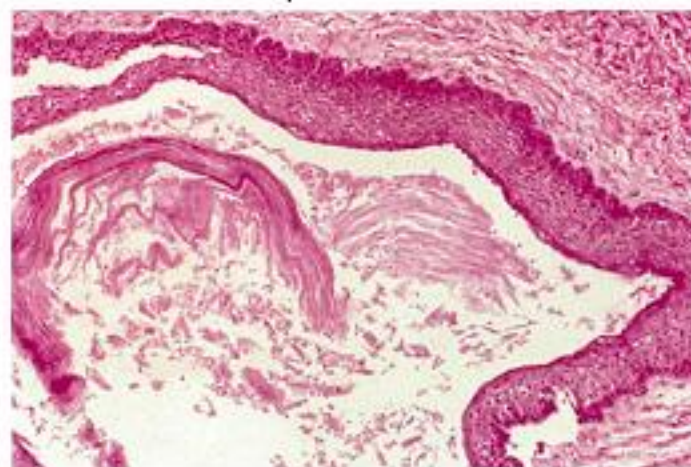


28 18歳の女子。顎骨の異常を指摘され来院した。初診時のエックス線写真(別冊

No. 3A)と摘出物の病理組織像(別冊No. 3B)とを別に示す。

合併する頻度が高いのはどれか。2つ選べ。

- a 大脳鎌の石灰化
- b 足底の角化
- c 二分肋骨
- d 海綿状血管腫
- e 神経線維腫



29 28歳の女性。咬合の異常を主訴として来院した。初診時の顔貌写真(別冊No. 4

A)と手術前後のエックス線写真(別冊No. 4B、C)とを別に示す。

行われた手術法はどれか。2つ選べ。

- a 皮質骨骨切り術
- b Köle 法
- c Dingman 法
- d Obwegeser-Dal Pont 法
- e Le Fort I 型骨切り術



30 46歳の男性。開口障害を主訴として来院した。3週前に顔面部を殴打されたという。初診時の開口域は20 mmであった。初診時の顔貌写真(別冊No. 5A)とエックス線写真(別冊No. 5B)とを別に示す。

適切な対応はどれか。

- a 経過観察
- b 開口訓練
- c 筋弛緩薬の投与
- d スプリントの装着
- e 観血的整復固定



31 34歳の男性。左側頬部の疼痛を主訴として来院した。昨夜、食事中に左側頬粘膜を強く噛んでしまったという。初診時の口腔内写真(別冊No. 6)を別に示す。

適切な対応はどれか。

(1) 咬合状態のチェック

(2) 含嗽薬の投与

(3) 抗菌薬の投与

(4) 止血薬の投与

(5) 縫合

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

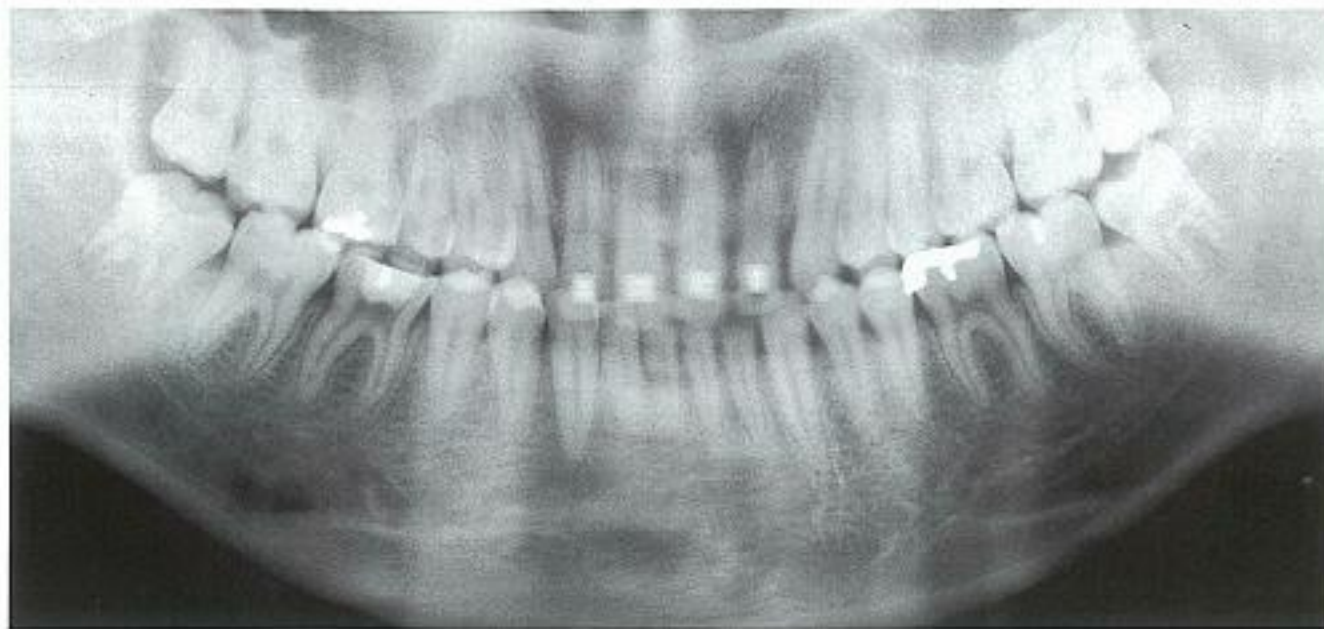
e (3)、(4)、(5)



32 16歳の男子。下顎右側大白歯部の有痛性腫脹を主訴として来院した。6か月前から自発痛を繰り返し、1か月前から歯肉の腫脹を生じたという。初診時のエックス線写真(別冊No. 7A、B、C)を別に示す。

認められるのはどれか。2つ選べ。

- a セメント質肥大
- b 骨梁構造消失
- c 骨膜反応
- d 腐骨分離
- e 骨隆起



33 21歳の男性。左側眼窩下部の疼痛を主訴として来院した。7日前から上顎左側第一大臼歯に咬合痛がみられ、徐々に疼痛が強くなってきたという。初診時のエックス線写真(別冊No. 8A、B)を別に示す。

適切な処置はどれか。2つ選べ。

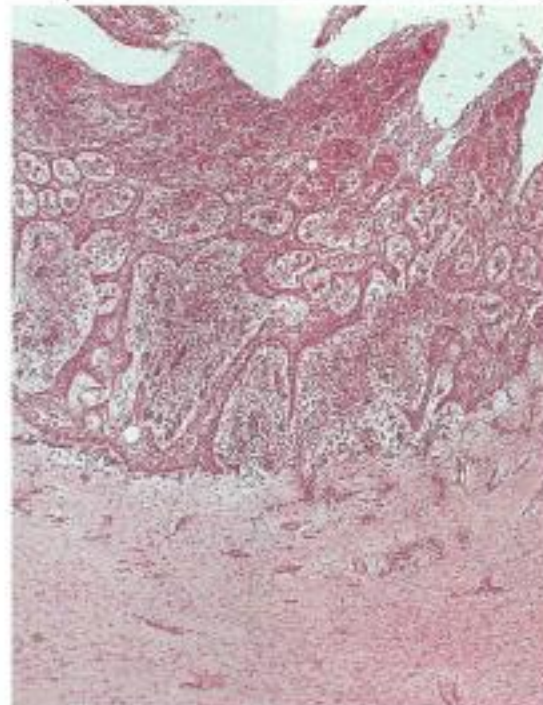
- a 抗菌薬の投与
- b 6の根管開放
- c 6の抜歯
- d 嚢胞摘出
- e 腫瘍摘出



34 45歳の男性。下顎左側臼歯部歯肉の腫脹を主訴として来院した。1か月前に気付いたが、痛みが軽度なので放置していたという。初診時のエックス線写真(別冊No. 9A、B)と摘出物の病理組織像(別冊No. 9C)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 単純性骨嚢胞
- b 根尖性セメント質異形成症
- c 歯根嚢胞
- d 含歯性嚢胞
- e 歯原性線維腫



35 11歳の女児。下顎右側小白歯部歯肉腫脹を主訴として来院した。2か月前に気付いたが、痛みがないので放置していたという。初診時のエックス線写真(別冊No. 10A、B、C)を別に示す。

疑われる疾患はどれか。

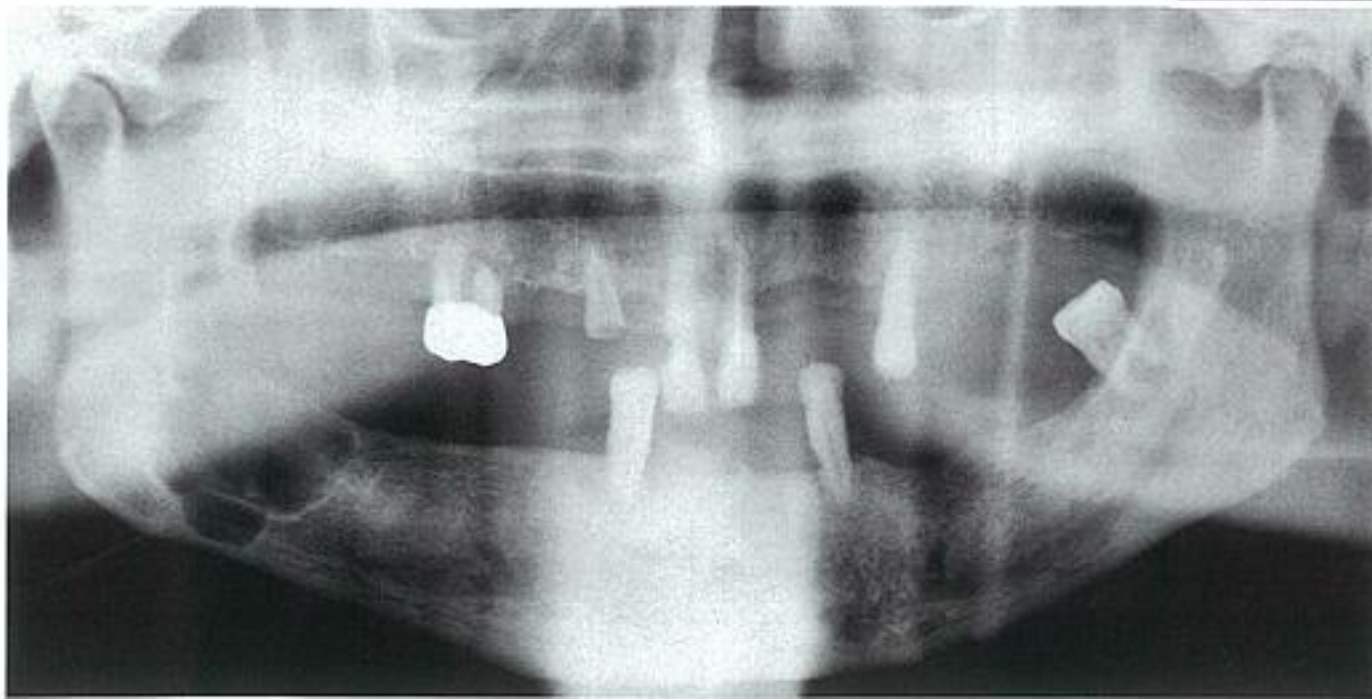
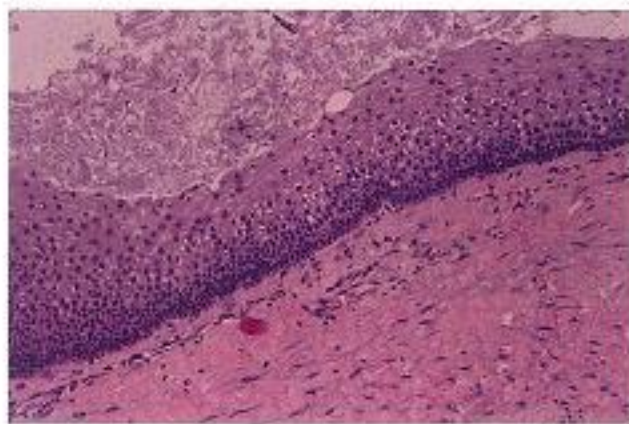
- a 単純性骨嚢胞
- b 脈瘤性骨嚢胞
- c 歯根嚢胞
- d 含歯性嚢胞
- e 歯肉嚢胞



36 61歳の男性。下顎右側大白歯部の精査を主訴として来院した。歯科治療時に病変を指摘されたという。初診時のエックス線写真(別冊No. 11A、B)と生検時の病理組織像(別冊No. 11C)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 歯原性角化嚢胞
- b 単純性骨嚢胞
- c 脈瘤性骨嚢胞
- d エナメル上皮腫
- e 歯原性粘液腫



37 43歳の男性。右側頬部の腫脹を主訴として来院した。4日前に気付いたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 12A)、エックス線写真(別冊No. 12B、C)および腫脹部からの穿刺内容液の写真(別冊No. 12D)を別に示す。

疑われる疾患はどれか。

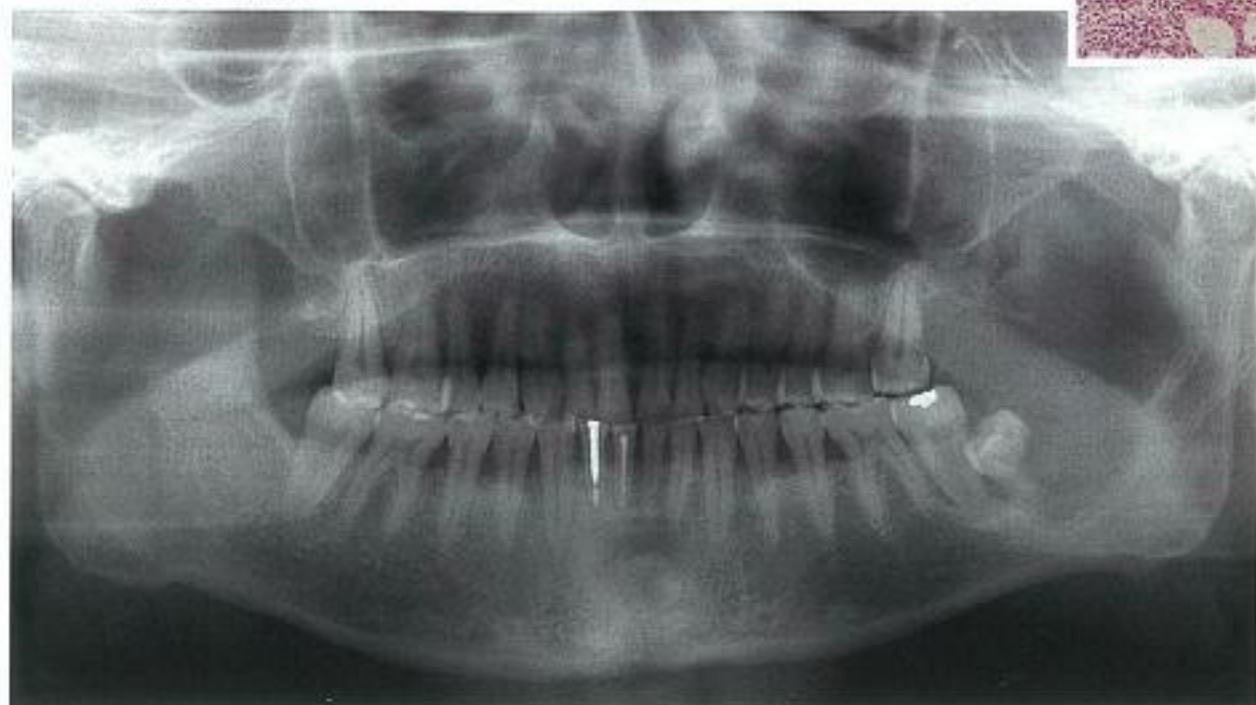
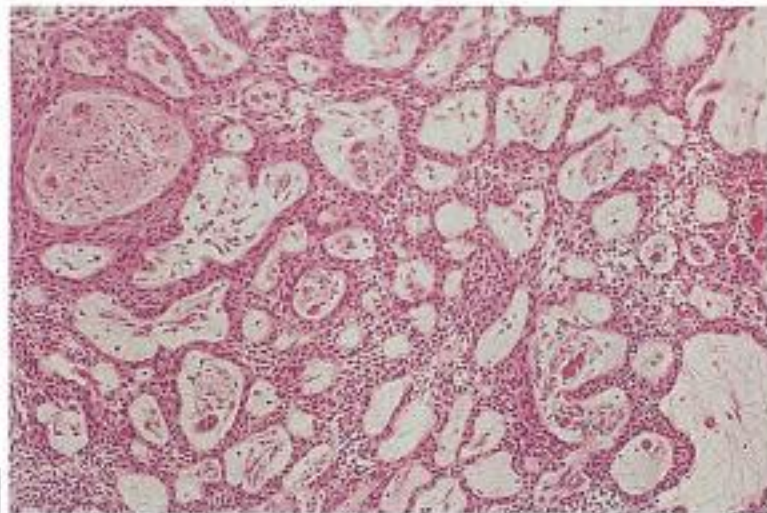
- a 鼻口蓋管嚢胞
- b 含歯性嚢胞
- c 原始性嚢胞
- d 粘液瘤
- e 術後性上顎嚢胞



38 40歳の男性。下顎左側大臼歯部の腫脹を主訴として来院した。3年前に気付いたが、疼痛がないので放置していたという。腫脹は弾性軟で圧痛はない。初診時のエックス線写真(別冊No. 13A、B)と生検時の病理組織像(別冊No. 13C)とを別に示す。

診断名はどれか。

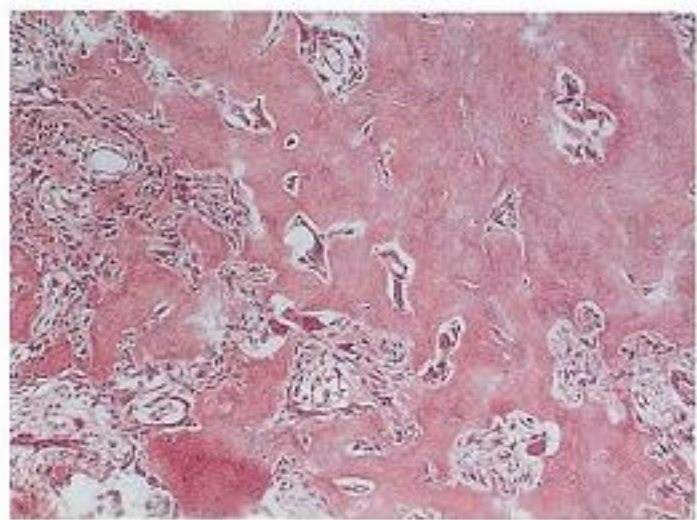
- a 歯原性角化嚢胞
- b 歯原性粘液腫
- c 石灰化歯原性嚢胞
- d エナメル上皮腫
- e 扁平上皮癌



39 24歳の男性。下顎右側臼歯部の腫脹を主訴として来院した。6か月前に気付いたが、痛みがないので放置していたという。圧痛はない。初診時のエックス線写真(別冊No. 14A、B)と摘出物の病理組織像(別冊No. 14C)とを別に示す。

診断名はどれか。

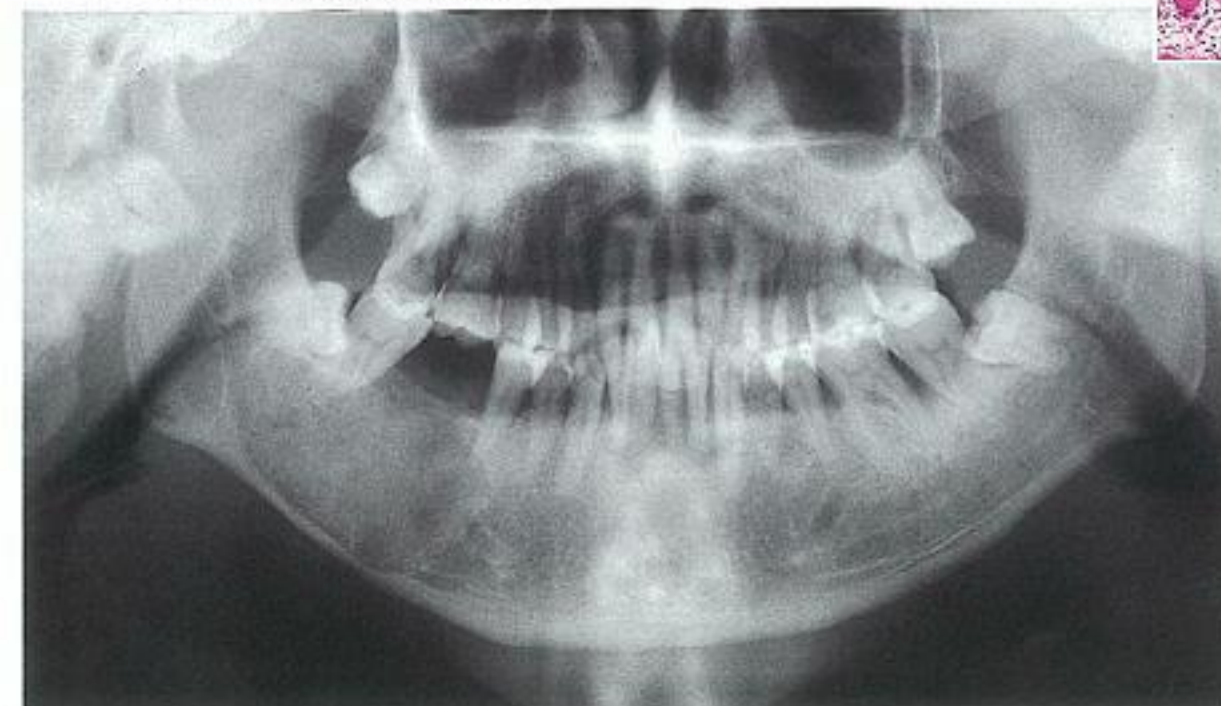
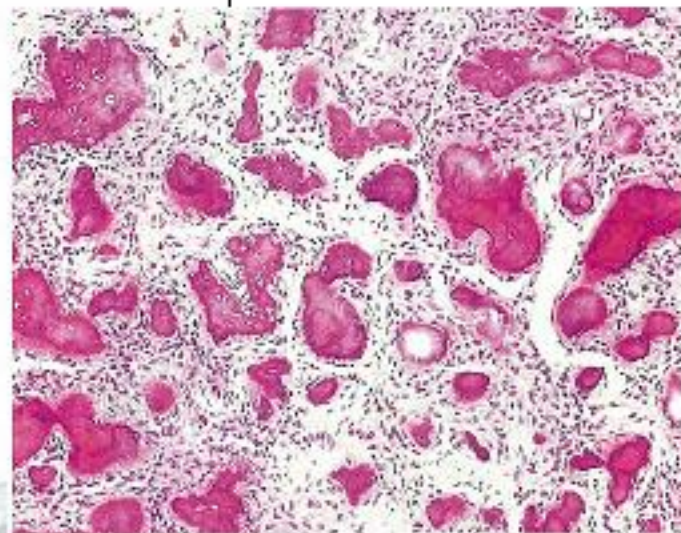
- a 骨肉腫
- b 良性セメント芽細胞腫
- c 根尖性セメント質異形成症
- d 線維性骨異形成症
- e 歯源性石灰化上皮腫



40 50歳の男性。下顎右側臼歯部の違和感を主訴として来院した。同部歯肉に正常粘膜で被覆された腫瘤を触知した。初診時のエックス線写真(別冊No. 15A)と生検時の病理組織像(別冊No. 15B)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 腺様歯原性腫瘍
- b 歯原性石灰化上皮腫
- c 良性セメント芽細胞腫
- d 集合性歯牙腫
- e セメント質骨形成線維腫



41 54歳の女性。上唇と左側頬部との腫瘤を主訴として来院した。小児の頃から気付いていたが、最近やや大きくなったという。腫瘤は圧迫により退色する。初診時の口腔内写真(別冊No. 16A)と口唇部写真(別冊No. 16B)とを別に示す。

適切な治療法はどれか。2つ選べ。

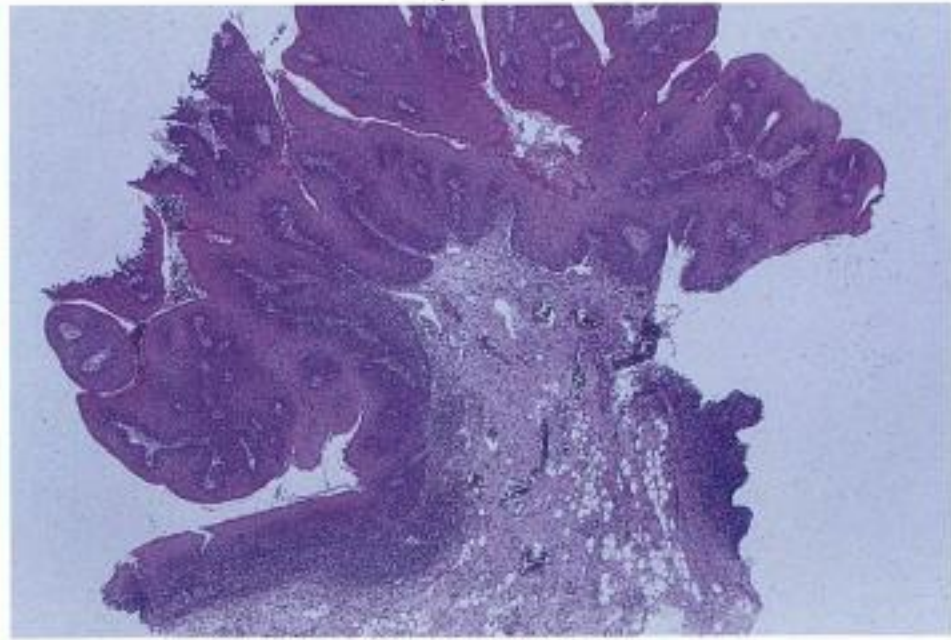
- a 開窓
- b 切除
- c 嚢包療法
- d 化学療法
- e 放射線療法



42 37歳の女性。右側舌下面の腫瘍を主訴として来院した。1か月前に気付いたという。疼痛はない。初診時の口腔内写真(別冊No. 17A)と生検時の病理組織像(別冊No. 17B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

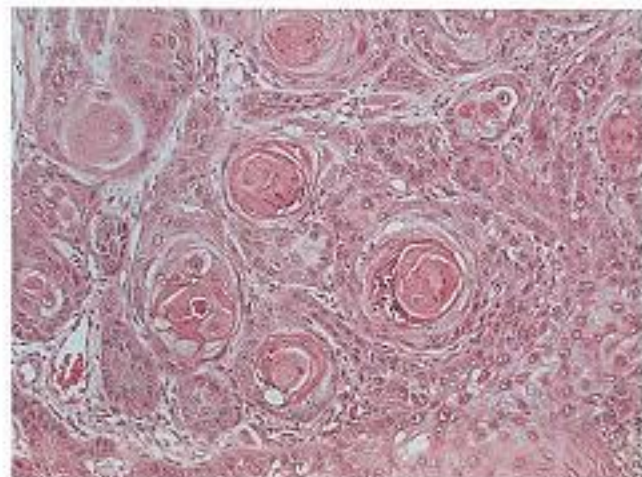
- a 副腎皮質ステロイド軟膏塗布
- b 抗真菌薬投与
- c 腫瘍切除
- d 舌半側切除
- e 放射線治療



43 71歳の男性。下顎右側臼後部歯肉の腫脹を主訴として来院した。3か月前に気づき、時々出血するようになったという。初診時のエックス線写真(別冊No. 18A、B)と生検時の病理組織像(別冊No. 18C)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a エナメル上皮腫
- b 歯原性線維腫
- c 粘表皮癌
- d 扁平上皮癌
- e 骨肉腫



44 36歳の女性。下顎右側大臼歯部の精査を希望して来院した。2か月前の歯科治療時のエックス線検査にて病変を指摘されたという。疼痛と腫脹はない。初診時のエックス線写真(別冊No. 19)を別に示す。

疑われる疾患はどれか。

- a 慢性骨髓炎
- b セメント質骨形成線維腫
- c 良性セメント芽細胞腫
- d 線維性骨異形成症
- e 根尖性セメント質異形成症

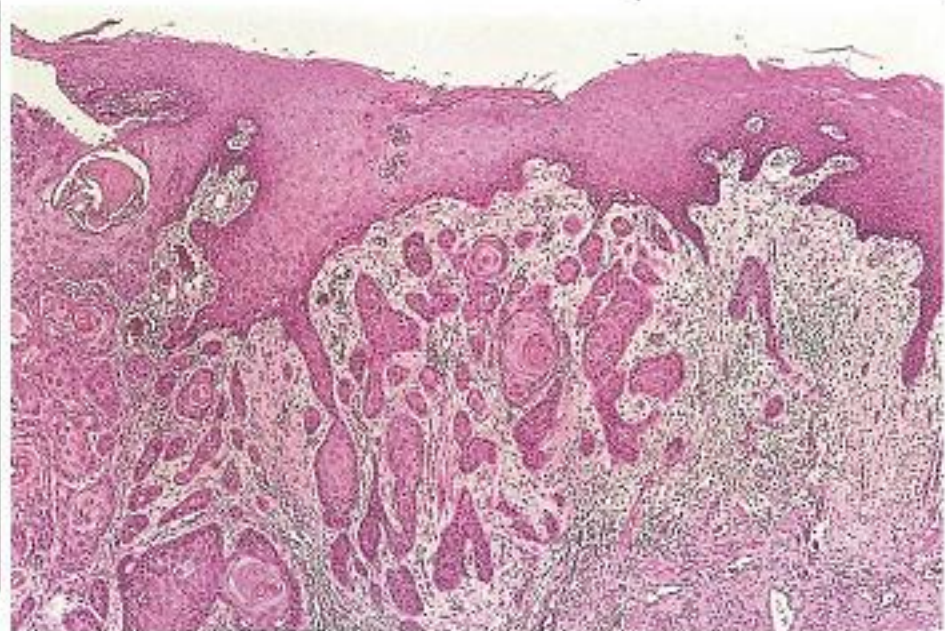


45 45歳の男性。舌の異常を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 20

A)と生検時の病理組織像(別冊No. 20B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。2つ選べ。

- a 副腎皮質ステロイド軟膏塗布
- b ビタミンA投与
- c 凍結療法
- d 舌部分切除
- e 放射線治療



46 43歳の男性。嚥下痛を主訴として来院した。3日前に発熱と嚥下痛とを生じ、次第に摂食が困難になってきたという。体温 38.1℃。初診時の口腔内写真(別冊 No. 21)を別に示す。

診断名はどれか。

- a 再発性アフタ
- b 扁桃周囲炎
- c 疱疹性口内炎
- d ヘルパンギーナ
- e 壊死性潰瘍性口内炎



47 29歳の女性。舌の接触痛を主訴として来院した。3か月前から舌の接触痛とともに嚥下痛が生じたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 22A)と手指の写真(別冊No. 22B)とを別に示す。初診時の検査結果を表に示す。

赤血球	: 385 万/ μ l
ヘモグロビン	: 8.2 g/dl
ヘマトクリット	: 30. %
白血球	: 3,800/ μ l
血小板	: 18 万/ μ l
血清鉄	: 50 μ g/dl (基準値 80~120)
総鉄結合能	: 376 μ g/dl (基準値 290~355)

診断名はどれか。

- a 地図状舌
- b 口腔カンジダ症
- c Plummer-Vinson 症候群
- d Hunter 舌炎
- e Sjögren 症候群



48 56歳の男性。左側頬部の出血を主訴として来院した。7日前に突然、下顎前歯部の出血を認め、昨夜右側オトガイ下部の異常にも気付いたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 23A)と下顔面部写真(別冊No. 23B)とを別に示す。初診時の血液学検査の結果を表に示す。

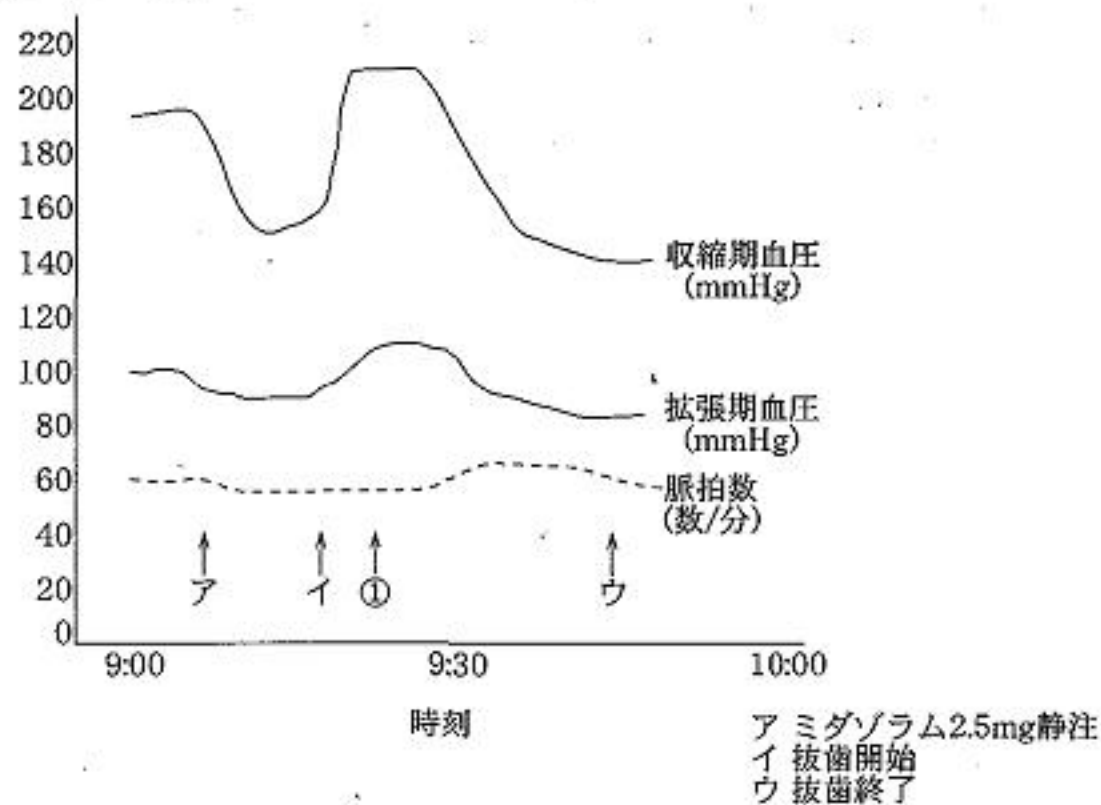
赤血球	: 359 万/ μ l
ヘモグロビン	: 10.1 g/dl
ヘマトクリット	: 32.8 %
白血球	: 1,800/ μ l
血小板	: 1.5 万/ μ l
平均赤血球容積	: 91 fl (基準値 83~93)
平均ヘモグロビン量	: 27 pg (基準値 27~32)



疑われる疾患はどれか。

- a 悪性貧血
- b 顆粒球減少症
- c 鉄欠乏性貧血
- d 再生不良性貧血
- e 血友病A

49 75歳の男性。上顎右側第一小白歯の抜去中に気分が悪いと訴えた。循環動態の経過を図に示す。



図の①の時点での対応はどれか。2つ選べ。

- a 手術の中断
- b 下肢の挙上
- c 輸液量の増加
- d 硫酸アトロピンの静注
- e 塩酸ニカルジピンの静注

50 57歳の男性。悪性腫瘍切除術で6時間の全身麻酔管理が予定された。術前の検査結果を表に示す。

空腹時血糖	: 140 mg/dl (基準値 60~100)
ブドウ糖負荷試験	: 180 mg/dl (基準値 120 以下(2時間値))
ヘモグロビン A _{1c}	: 7 % (基準値 4 ~ 6)
尿 糖	: 3 g/日 (基準値 0.13~0.5)
尿ケトン体	: 正 常

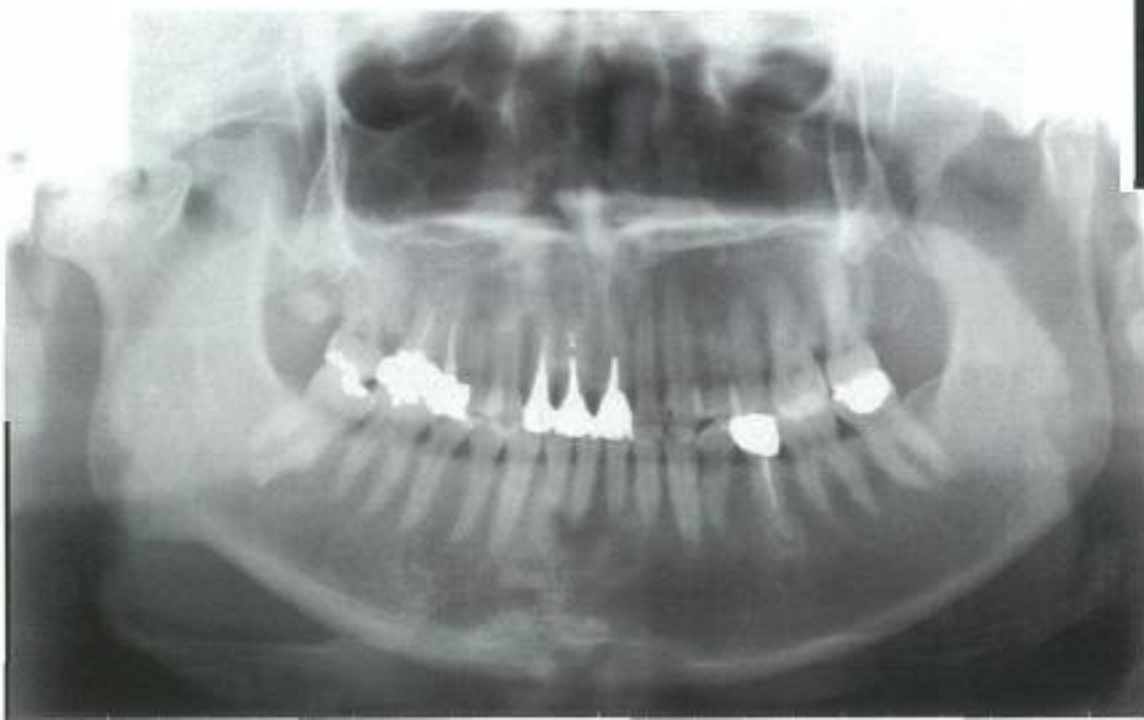
術中・術後の管理で重要なのはどれか。

- (1) ヘモグロビン A_{1c} のモニタリング
 - (2) 浅麻酔の実施
 - (3) 術後の感染対策
 - (4) 血糖値のモニタリング
 - (5) ケトアシドーシスの把握
- a (1)、(2)、(3) b (1)、(2)、(5) c (1)、(4)、(5)
- d (2)、(3)、(4) e (3)、(4)、(5)

51 44歳の女性。開口障害を主訴として来院した。19年前に頭部を強打したという。開口時の痛みはない。初診時のエックス線写真(別冊No. 24A、B)を別に示す。

疑われる疾患はどれか。

- a 下顎頭肥大
- b 顎関節症
- c リウマチ性顎関節炎
- d 顎関節強直症
- e 化膿性顎関節炎



52 47歳の男性。右側顎下部の腫脹を主訴として来院した。3日前から疼痛とともに腫脹し、特に食事時の疼痛が強いという。初診時の口腔内写真(別冊No. 25A)と右側顎下部の写真(別冊No. 25B)とを別に示す。

診断に必要なエックス線撮影法はどれか。2つ選べ。

- a 二等分法
- b 咬合法
- c パノラマエックス線撮影法
- d 後頭前頭方向撮影法
- e Waters 撮影法

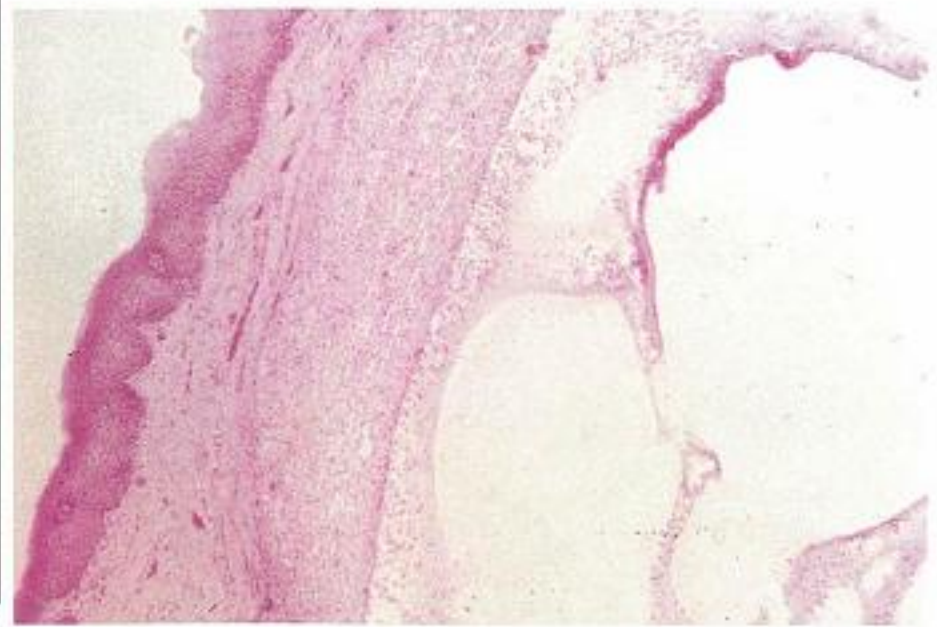


53 26歳の男性。口唇の腫脹を主訴として来院した。2か月前に気付いたという。

初診時の口唇部の写真(別冊No. 26A)と生検時の病理組織像(別冊No. 26B)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 肉芽腫性口唇炎
- b 接触性口唇炎
- c 水疱性類天疱瘡
- d 粘液瘤
- e 血管腫

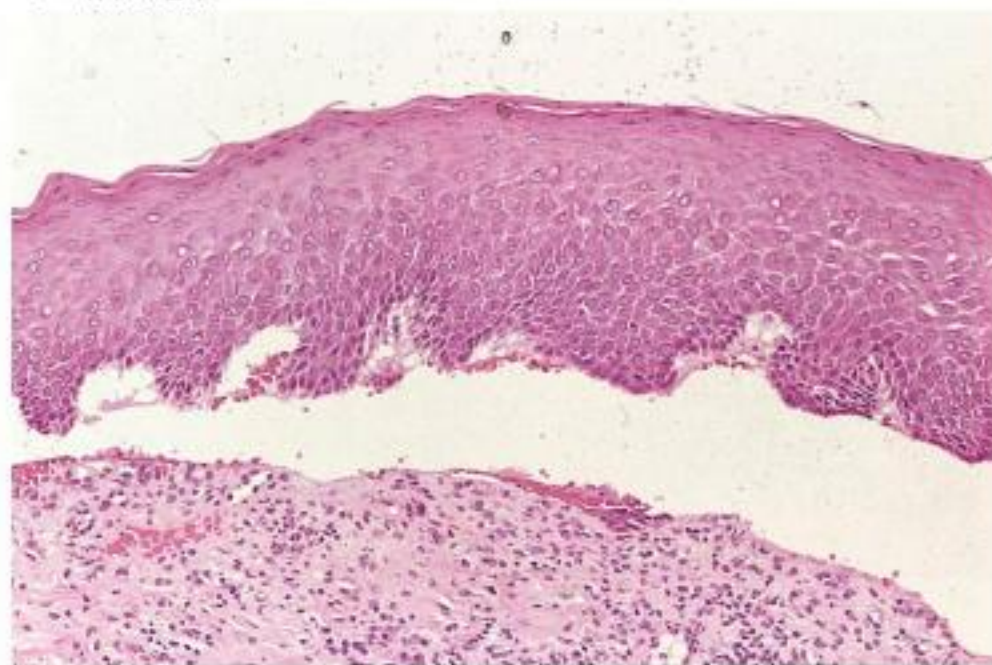


97D54

54 46歳の女性。歯肉の接触痛を主訴として来院した。1か月前から下顎歯肉の発赤と接触痛とを生じ、発症3日後からアシクロビルの投与を受けたが症状は改善しなかったという。免疫染色で基底膜にIgGとC3の沈着がみられた。初診時の口腔内写真(別冊No. 27A)と生検時の病理組織像(別冊No. 27B)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 扁平苔癬
- b 疱疹性歯肉口内炎
- c 紅板症
- d Behçet病
- e 類天疱瘡



55 77歳の男性。口腔の疼痛を主訴として来院した。5年前から口腔全体がしみるようになり、軽快と増悪とを繰り返してきたという。6年前から糖尿病の治療を受けている。初診時の口腔内写真(別冊No. 28A、B)を別に示す。

適切な薬物はどれか。2つ選べ。

- a 塩酸ミノサイクリン
- b ミコナゾール
- c メコバラミン
- d アムホテリシンB
- e プレドニゾロン



56 歯のフッ素症の発症に関係するのはどれか。

- a 歯嚢細胞
- b 歯髄細胞
- c 象牙芽細胞
- d エナメル芽細胞
- e セメント芽細胞

57 歯磨剤に配合されるのはどれか。

- (1) フッ化ナトリウム
- (2) フッ化カルシウム
- (3) フッ化アルミニウム
- (4) 酸性フッ素リン酸溶液
- (5) モノフルオロリン酸ナトリウム

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

58 誤っている組合せはどれか。

- a 歯肉出血 ————— 歯肉内縁部の潰瘍
- b 歯周ポケット ————— 接合上皮の破壊
- c 膿 ————— 好中球の変性
- d 口臭 ————— ヒスタミンの遊離
- e 歯の動揺 ————— コラーゲンの消失

59 ある地域の母子歯科保健事業の評価に必要なのはどれか。

- (1) 対照地域との比較
- (2) 歯科健康診査票
- (3) 歯科医療施設数
- (4) 両親の職業
- (5) 事業の受診率

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

60 3歳児歯科健康診査の結果の一部を図に示す。

E C	D /	C /	B /	A C	A C	B C	C /	D /	E C
E C	D C	C /	B /	A /	A /	B /	C C	D C	E C

齲蝕罹患型で正しいのはどれか。

- a O 型
- b A 型
- c B 型
- d C 1 型
- e C 2 型

61 学校保健法における歯科保健の対象でないのはどれか。

- a 保育所の幼児
- b 小学校の児童
- c 高等学校の生徒
- d 専門学校の学生
- e 学校の教職員

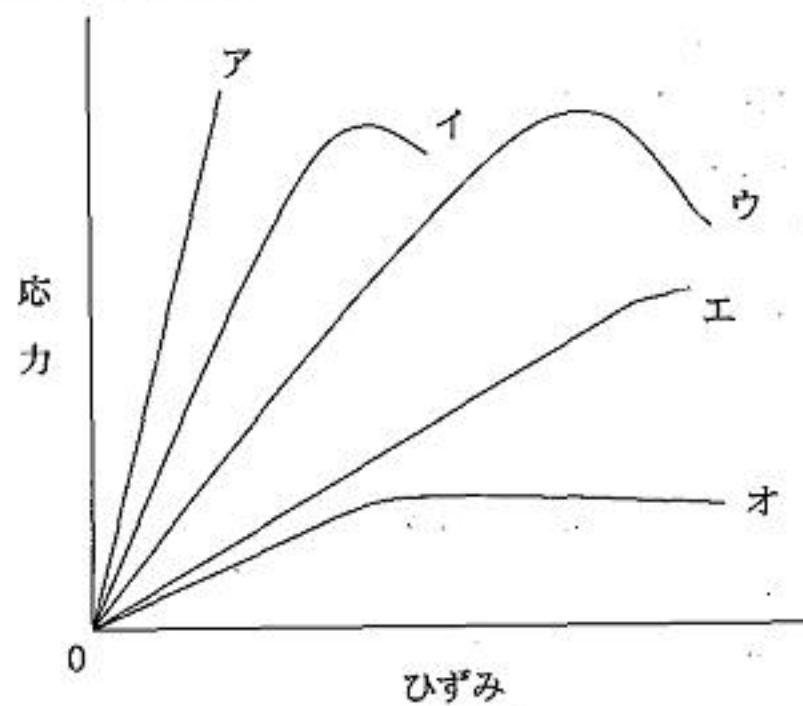
62 13歳の生徒で予防填塞が最も有効なのはどれか。

- a 上顎中切歯
- b 上顎側切歯
- c 第一小臼歯
- d 第一大臼歯
- e 第二大臼歯

63 根面齲蝕の予防に適用されないのはどれか。

- a 甘味制限
- b フッ化物洗口
- c フッ化物塗布
- d 歯間ブラシの使用
- e ラバーチップの使用

64 金属線の引張り試験における破断までの応力-ひずみ曲線を図に示す。



加工しやすいのはどれか。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

65 寒天印象材で誤っているのはどれか。

- a 成分としてホウ砂を含む。
- b 温度でゾル-ゲルの状態変化を示す。
- c ゾル化温度とゲル化温度とは等しい。
- d ゲルを空気中に放置すると収縮する。
- e ゲルを水中に保管すると膨張する。

66 正しい組合せはどれか。

- | | | |
|-------------------|------|----------|
| (1) ISO タイプ 1 金合金 | ———— | 全部鑄造冠 |
| (2) ISO タイプ 3 金合金 | ———— | 鑄造床 |
| (3) ISO タイプ 4 金合金 | ———— | 臼歯部ブリッジ |
| (4) 金銀パラジウム合金 | ———— | 4/5 クラウン |
| (5) 低融銀合金 | ———— | 3/4 クラウン |

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

67 接着性レジンセメントで正しいのはどれか。

- (1) リン酸亜鉛セメントより圧縮強さが大きい。
- (2) EBA セメントより引張り強さが小さい。
- (3) グラスアイオノマーセメントより水への溶解率が大きい。
- (4) グラスアイオノマーセメントより象牙質接着強さが小さい。
- (5) ポリカルボキシレートセメントより合金に強く接着する。

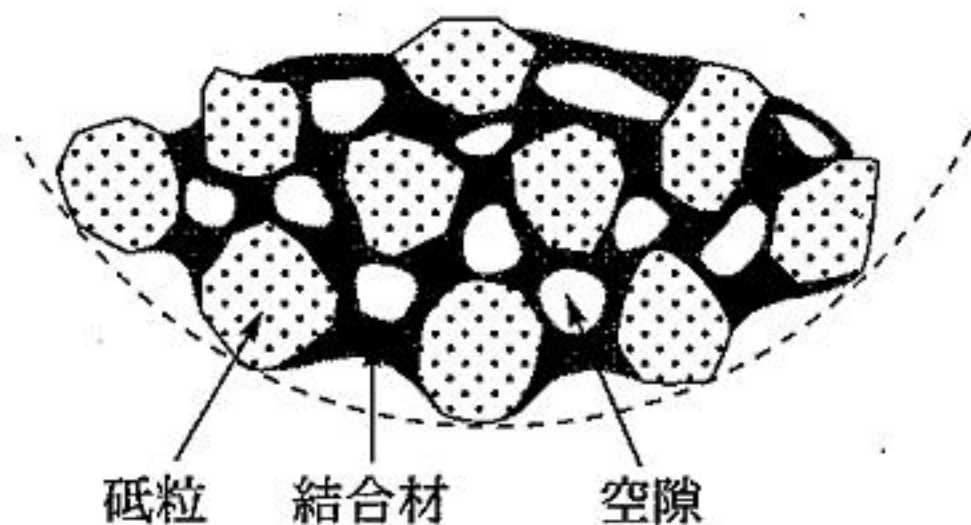
a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

68 20 カラット金合金用ろうとして適切な組成(重量%)はどれか。

- a 銀(24)、銅(3)、錫(73)
- b 銀(56)、銅(22)、亜鉛(17)、錫(5)
- c 金(20)、パラジウム(15)、銀(32)、銅(26)、亜鉛(6)
- d 金(75)、銀(5)、銅(10)、亜鉛(7)
- e 金(88)、白金(3)、パラジウム(5)、銀(3)

- 69 加熱重合型アクリルレジン義歯床の作製工程で適切なのはどれか。
- a 粉・液混和を重量比で1：1にした。
 - b 湿式重合を100℃で10時間行った。
 - c 乾熱重合法でフラスコの加熱を粘膜面から行った。
 - d 重合終了後にフラスコから取り出して急冷した。
 - e 研磨終了後に乾燥状態で保管した。

70 カーボランダムポイントの断面構造模式図を示す。



誤っているのはどれか。

- a 砥粒の先端が切れ刃になる。
- b 砥粒が脱落すると切れ刃が自生する。
- c 砥粒の主成分は炭化ケイ素である。
- d 結合材にはゴムを用いる。
- e 空隙は研削時の発熱を抑える。